

YN20-5000NW取扱説明書



このたびは、YN20-5000NWをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

- ・ご使用前に、本「取扱説明書」をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。
- ・お読みになったあとも、本商品のそばなどいつでも手もとに置いてお使いください。

はじめに

1 お使いになる前に

2 基本的な操作

3 電話帳を使う

4 PBXの機能を利用する

5 より便利に使う

6 メンテナンス

このたびは、「YN20-5000NW」をご利用いただきまして、
まことにありがとうございます。
本取扱説明書は、「はじめに」、「基本操作編」、「活用編」、
「メンテナンス」の4部構成になっております。
ご利用の前に、あるいはご利用中に、
本取扱説明書をよくお読みいただき、
YN20-5000NWを正しく、
効果的にお使いいただきますようお願いいたします。

YN20-5000NWは、あなたの有能なパートナーです。
大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

ご使用にあたって

- 本電話機は無線を利用しているため、接続装置から遠く電波の弱い場所、電波の届かない場所、およびサービスエリア外ではご使用になれません。なお電波が強くアンテナマークが5本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い場所や静かな場所などでは、まわりの方のご迷惑にならないようご使用ください。
- 本電話機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を使用している関係上、通常の手段を超える方法がとられた場合は、第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点に十分配慮してご使用ください。
- 本電話機は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪いところへ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本電話機に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管して下さるようお願いいたします。万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本電話機の故障、誤動作、電池パックの消耗、または、停電等の外部要因で電話機が使えなかったことで生じた損害等の補償については、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本電話機に使用しております「二次電池」に関しましては、省資源・資源循環を目的とした【資源の有効な利用の促進に関する法律(改正リサイクル法)】により回収・再資源化が義務付けられております。
- 本電話機は日本国外ではご使用になれません。
YN20-5000NW is exclusively for use in Japan.
- 本電話機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マークを画面に表示することができます。

本電話機をお使いになる前に、本取扱説明書をよくお読みの上、ご使用ください。

本「YN20-5000NW取扱説明書」の本文中においては、「YN20-5000NW」を「本電話機」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

安全上のご注意







●必ずお守りください●

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。




ここに示した注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

本書中のマーク説明

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。
 お願	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本電話機の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。
 重要	この表示は、本電話機を取り扱う上での注意事項を示します。
 ワンポイント	知っておくと便利な事項、操作へのアドバイス等の補足説明を示します。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

	この絵表示は、してはいけない、「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく、「強制」内容です。
	この絵表示は、プラグを必ずコンセントから抜いていただく内容です。

「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本電話機、電池パック、充電台の取り扱いについて(共通) 4
2. 本電話機の取り扱いについて 5
3. 電池パックの取り扱いについて 7
4. 充電台およびACアダプタの取り扱いについて 9

1. 本電話機、電池パック、充電台の取り扱いについて(共通)

危険



- 本電話機に使用する機器は当社が指定したものを使用してください。
 - ・ 指定品以外のものを使用した場合は、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

警告



- 強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。
 - ・ 電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。



- 引火、爆発の恐れのある場所では使用しないでください。
 - ・ プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災の原因となります。



- 電子レンジや高圧容器に、電池パック、本電話機や充電台を入れないでください。
 - ・ 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、本電話機、充電台の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

注意



- 湿気やほこりの多い場所、また高温となる場所には保管しないでください。
 - ・ 故障の原因となります。



- 子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかご注意ください。
 - ・ けがなどの原因となります。



- 直射日光の強い場所や炎天下の車内などの高温の場所で使用、放置しないでください。
 - ・ 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、機器の変形、故障の原因となります。









- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
 - ・ 落下して、けがや故障の原因となります。



- 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
 - ・ けがなどの原因となります。

2. 本電話機の取り扱いについて

警告

- | | |
|---|---|
|  | <ul style="list-style-type: none">● 自動車等を運転中に使用しないでください。<ul style="list-style-type: none">・安全走行を損ない、事故の原因となります。車を安全なところで停車させてからご使用ください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● 分解、改造をしないでください。<ul style="list-style-type: none">・火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。無線機器の改造は電波法違反にもなります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● ストラップなどを持って本電話機を振り回さないでください。<ul style="list-style-type: none">・本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本電話機の電源を切ってください。<ul style="list-style-type: none">・電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。<p><ご注意いただきたい電子機器の例></p><ul style="list-style-type: none">・補聴器、ペースメーカ、その他医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。・ペースメーカ、その他医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● 航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本電話機の電源を切ってください。<ul style="list-style-type: none">・電子機器や医用電気機器に影響をおよぼす場合があります。・医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。 |
|  | <ul style="list-style-type: none">● 心臓の弱い方は、着信バイブレータ(振動)や着信音量の設定に注意してください。 |

2. 本電話機の取り扱いについて(つづき)

注意



- 自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与えることがあるため、自動車内で使用する際は、十分な対電磁波保護がされているか、自動車販売店にご確認ください。
 - ・ 安全走行を損なう原因となります。



- 本電話機に他の機器を近接設置する場合、当該機器の設置・運用基準を必ず守ってください。本電話機が誤動作する原因になることがあります。



- 磁気カードなどを本電話機に近づけないでください。
 - ・ 磁気データが消えてしまうことがあります。
 - ・ キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカードなどの磁気記録を利用しているものを本電話機に近づけないでください。



- スポンやスカートの後ろのポケットに本電話機を入れたまま、椅子などに座らないでください。
 - ・ 故障の原因となります。



- 通話中は充電しないでください。
 - ・ 低温やけどする原因となります。



- 鞆の底など無理な力がかかるような場所には、本電話機を入れないでください。
 - ・ 故障の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

電池パックに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
リチウムイオン	リチウムイオン電池

 **危険**



- 電池パックは火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。
 - ・ 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



- 電池パックをご使用の際は、次のことは絶対にしないでください。
 - 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
 - ・ 火の中に投下しないでください。
 - ・ 直接ハンダ付けしないでください。
 - ・ 電池パックの端子を針金などの金属類で接続しないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
 - ・ 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり踏みつけたりしないでください。
 - ・ 外装ケースをはがしたり、傷をつけないでください。



- 分解、改造をしないでください。
 - ・ 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



- 電池パックは、プラス(+)**・**マイナス(-)の向きが決められています。本電話機に接続するときはプラス・マイナスの向きを確かめてください。
 - ・ 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



- 電池パック内部の液が目に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
 - ・ 失明などの原因となります。



- 電池パックは本電話機にのみ使用してください。
 - ・ 電池パックを指定以外の電源に使用すると、漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



3. 電池パックの取り扱いについて(つづき)

警告



- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。
 - ・ 電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



- 電池パックの使用、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままてと異なるときは、本電話機から取りはずし、使用しないで販売店へお問い合わせください。
 - ・ そのまま使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。



- 電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちにきれいな水で洗い流してください。
 - ・ 皮膚に傷害をおこす原因となります。



- 電池パックが漏液したり異臭がするときは、直ちに火気から遠ざけてください。
 - ・ 漏液した溶解液に引火し、発火、破裂の原因となります。

注意
















- 水やペットの尿などで電池パックを濡らさないでください。
 - ・ 電池パックを発熱、発煙させたり、サビの原因となります。



- 「二次電池」には希少金属が用いられております。電池パック交換等対象電池パックが不要となった場合の処理方法を下記に示しますのでご協力ください。
 - ・ 電池不要時の処理方法
 - (1) リチウムイオンはリサイクル可能な貴重な資源です。
 - (2) 交換後不要になった電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、NEC環境ホームページ上で示します「法人向け二次電池持ち込み拠点」への搬入、あるいは、NEC環境ホームページ上で示します方法等に準拠した、適切な回収処理を行ってください。
 - なお、NEC環境ホームページは、
「<http://www.nec.co.jp/eco/ja/>」
をご覧ください。

4. 充電台およびACアダプタの取り扱いについて

警告

	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプタは必ずAC100Vを使用してください。<ul style="list-style-type: none">・ 誤った電圧で使用すると、火災、故障の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプタ、電源コードが傷んだら使用しないでください。<ul style="list-style-type: none">・ 感電、発煙、火災の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● 分解、改造をしないでください。<ul style="list-style-type: none">・ 感電、火災、故障の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● 充電台を濡らさないでください。<ul style="list-style-type: none">・ 水やペットの尿などの液体が入ると発熱、感電、故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。
	<ul style="list-style-type: none">● 濡れた手で充電台、ACアダプタ、電源コードやコンセントに触れないでください。<ul style="list-style-type: none">・ 感電の原因となります。
 	<ul style="list-style-type: none">● 万一滴などの液体が入った場合は、直ちにコンセントからプラグを抜いてください。<ul style="list-style-type: none">・ 感電や発煙、火災の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプタについたほこりは拭き取ってください。<ul style="list-style-type: none">・ 火災の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● コンセントにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。 また、充電端子に手や指など、身体の一部に触れないでください。<ul style="list-style-type: none">・ 火災、故障、感電、傷害の原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプタや充電台は、風呂場など湿気の多い場所では絶対に使用しないでください。<ul style="list-style-type: none">・ 感電の原因となります。
 	<ul style="list-style-type: none">● 充電台は、指定のACアダプタを使用して本電話機と電池パックの充電にのみ使用してください。<ul style="list-style-type: none">・ 指定以外のACアダプタを使用すると、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
	<ul style="list-style-type: none">● ACアダプタは、本電話機および指定の電池パックの専用品です。他の製品、用途では使用しないでください。

4. 充電台およびACアダプタの取り扱いについて(つづき)

警告



- 充電台にコイン、クリップなどの金属類を置かないでください。
 - ・ 金属類が発熱し、やけどの原因となります。



注意



- ACアダプタ、電源コードの上に重いものをのせたり、改造したりしないでください。
 - ・ 感電や火災の原因となります。



- 充電終了後は、コンセントからACアダプタのプラグを抜いてください。
 - ・ 火災、故障の原因となります。



- ACアダプタをコンセントから抜くときは、必ずACアダプタ本体を持って抜いてください。
 - ・ コードを引っ張ると、コードが傷つき、感電や火災の原因となります。



- 充電中は、充電台を安定した場所に置いてください。また、充電台を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。
 - ・ 電話機がはずれたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。



- 清掃する際には、必ずコンセントからACアダプタのプラグを抜いてください。
 - ・ 感電の原因となります。



●●●●●●●● 本電話機の防水上の注意事項(つづき) ●●●●●●●●

- ・ 水につけた状態では使用(キャップ等の開閉やキー操作も含む)しないでください。また水中に長時間放置しないでください。故障の原因になります。本電話機は水に浮きません。
- ・ 手が濡れているときや本電話機に水滴が付いている状態で、電池カバー、USB端子のキャップの開閉をしないでください。
- ・ 電池カバー、USB端子のキャップのゴムパッキンに水滴や汚れ、砂粒、泥などがわずかでも付着している場合、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。
- ・ 海水、温泉、プールの水や、石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤、薬品などの入った水には絶対につけないでください。もし、誤って付着した場合、そのままにせず、すみやかに洗面器などに溜めた水道水で洗ってください。洗う際にはブラシなどは使用せず、USB端子のキャップが開かないように押さえたままで洗ってください。
また、蛇口からの流水は直接当てないでください。洗濯機や超音波洗浄機等で洗わないでください。
- ・ 送話口(マイク)、スピーカなどを先がとがったものでつつかないでください。防水性能が損なわれる原因となります。
- ・ 送話口(マイク)、スピーカに水滴を残さないでください。通話不良の原因となる恐れがあります。
- ・ 本電話機は耐熱設計ではありません。熱湯をかけたり、サウナで使用したり、またドライヤなどの熱風を当てたりしないでください。
- ・ 本電話機は防湿設計ではありません。お風呂場、キッチンなど、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。また、胸ポケットなど、体温がこもりやすい場所にご注意ください。
- ・ 本電話機の防水性能は、常温の真水・水道水にのみ対応しています。
- ・ 本電話機を落下させると、衝撃により傷の発生や防水性能を劣化させることがあります。本電話機を落下させるなどした場合には、防水性能の保証を負いかねます。取扱いには十分ご注意ください。
- ・ 電池カバーが破損した場合には内部に水が入り、感電や電池の腐食など故障の原因となります。その場合は電池カバーを交換してください。
- ・ 本電話機を砂浜などの上に直接置かないでください。送話口(マイク)、スピーカなどに砂粒などが入り、音が聴き取りにくくなる恐れがあります。
- ・ 充電台、ACアダプタ、電池パックなどの付属品は防水性能を有していません。水分や湿気のある場所で使用しないでください。

●●●●●●●●●● **利用シーン別の注意事項(つづき)** ●●●●●●●●●●

～お風呂場で～

- ・電池カバー、USB端子のキャップをしっかりと閉じた状態で、お風呂場で使用することができます。濡れた手で持って通話することもできますが、湯船にはつけないでください。
- ・水道水や真水の中につけることはできますが、温泉や石けん、洗剤、シャンプー、リンス、入浴剤などの入った水にはつけないでください。
- ・水につけた状態では使用(キャップ等の開閉やキー操作も含む)しないでください。故障の原因になります。
- ・耐水圧設計ではありませんので、水道の蛇口やシャワーなどから直接流水をかけないでください。
- ・使用する場所によっては、電波が入りにくくなることがあります。
- ・使用場所の急激な温度の変化は、結露の原因となり、故障につながります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本電話機を持ち込む場合には、本電話機が常温になったことを確認してから持ち込んでください。
- ・ディスプレイパネルの内側に結露が発生した場合には、結露が取れるまで常温の状態での放置してください。
- ・お風呂場での長時間のご使用は避けてください。
- ・本電話機を浴槽につけたり、落下させたりしないよう注意してください。
- ・本電話機は耐熱設計ではありません。熱湯につけたり、サウナで使用したり、温風(ドライヤなど)を当てたりしないでください。
- ・周囲温度0°C～40°C、湿度35%～85%の範囲で使用してください。
- ・充電台、ACアダプタ、電池パックなどの付属品は防水性能を有してはおりません。お風呂場には持ち込まないでください。

～キッチンで～

- ・電池カバー、USB端子のキャップをしっかりと閉じた状態で、キッチンで使用することができます。
- ・石けん、洗剤、調味料、ジュース、お茶、果物の果汁など、水道水以外のものをかけたり、つけたりしないでください。
- ・耐熱設計ではありませんので、ポットのお湯などの熱湯や冷水をかけたり、つけたりしないでください。
- ・耐水圧設計ではありませんので、水道の蛇口やシャワーなどから直接流水をかけないでください。
- ・耐熱設計ではありませんので、コンロのそばや冷蔵庫の中など、極端に高温・低温になる所には置かないでください。

●●●●●●●●●● 利用シーン別の注意事項(つづき) ●●●●●●●●●●**～プールサイドで～**

- ・電池カバー、USB端子のキャップをしっかりと閉じた状態で、プールサイドで使用することができます。
- ・濡れた手で持って通話することもできますが、プールの水などの薬品が含まれている水につけたり、落下させたりしないでください。
- ・水につけた状態では使用(キャップ等の開閉やキー操作も含む)しないでください。故障の原因になります。
- ・プールの水がかかった場合は、洗面器などに水道水を溜めて洗い流してください。洗う際にはブラシなどは使用せず、USB端子のキャップが開かないように手で押さえたまま洗ってください。
- ・炎天下で高温になる場所で使用したり、放置したりしないでください。

●●●●●●●●●● 充電する際の注意事項 ●●●●●●●●●●

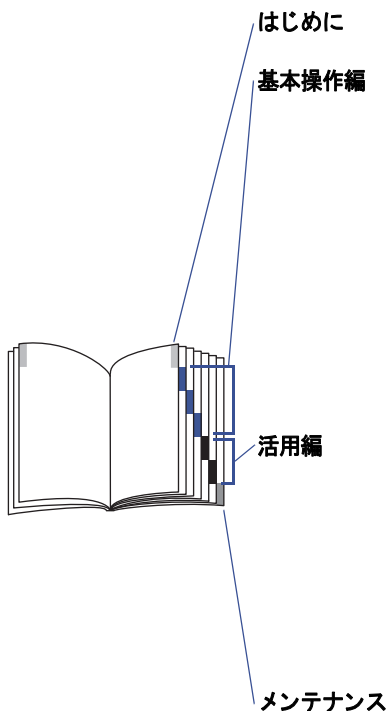
- ・充電台、ACアダプタ、電池パックなどの付属品は防水性能を有してはおりません。充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。
 - 水に濡れた後に充電する場合は、乾いた柔らかい清潔な布で水を拭き取ってから充電してください。
 - 充電の際にUSB端子のキャップを開いた場合には、充電後にキャップをしっかりと閉じてください。
 - 本電話機が濡れている状態では絶対に充電しないでください。感電や本体内部の回路がショートするなどして、火災や故障の原因となります。
 - 充電台、ACアダプタを濡れた手で触れないでください。感電の原因となります。
 - 充電台、ACアダプタは、水のかからない場所で使用してください。濡れた状態で使用すると火災・感電の原因となります。
 - 充電台、ACアダプタは、お風呂場、キッチン、サウナ、洗面所などの水周りや湿気の多い場所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
- ・充電時は、充電台をご使用ください。
USB端子のキャップを開けてACアダプタと接続しても充電できますが、充電台を使用することでキャップの閉め忘れや、すき間に異物が挟まることを防ぐことができます。本体とUSB端子のキャップとのすき間に異物が挟まると防水性が保持できないことがあります。

取扱説明書の見方

●取扱説明書の構成

はじめに

取扱説明書の見方



本電話機を使用するときに注意していただきたいことなどを説明しています。

単純に電話をかけたり、受けたりするまでの基本的な操作について説明しています。

1. お使いになる前に

お使いになる前に知っておいていただきたいことをまとめています。

2. 基本的な操作

電話をかけたり、受けたり、という基本的な操作と文字入力など使用頻度の高い機能を説明しています。

3. 電話帳を使う

電話帳を登録したり、電話帳を利用して電話をかける操作について説明しています。

本電話機をより活用していただくための機能や高度な使い方について説明しています。

4. PBXの機能を利用する

ソフトキーやPBXのローミング機能を利用する方法を説明しています。




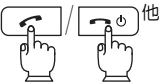
5. より便利に使う

本電話機で利用できる便利な機能や、使い勝手をよくする設定操作について説明しています。

6. メンテナンス

故障かな?と思ったときの確認方法や仕様などを説明しています。

●ボタンの表記

	機能キーの中央を押すマークです。ソフトキーやメニューなどで選択している機能を表示確定するとき、設定を実行するときなどに押します。
	機能キーを上下左右に押すマークです。ソフトキーやメニューを選択するときなどに押します。
	ダイヤルボタンを使って数字や文字を入力するマークです。電話をかけたり、電話帳の名前などを入力するときなどに使います。
	そのマークのボタンを押すマークです。それぞれボタン上に機能がついています。

●操作説明のページの構成

章タイトル

章ごとにタイトルが付けられています。

タイトル

目的ごとにタイトルが付けられています。

ワンポイント

知っておくと便利な事項、操作へのアドバイス等の補足説明を示します。

STOP

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本電話機の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止を招く内容を示します。

重要

この表示は、本電話機を取り扱う上での注意事項を示します。



モードのマーク



公衆モードで使用しているときのみ利用できる機能です。



事業所コードレスシステムモードで使用しているときのみ利用できる機能です。



トランシーバーモードで使用しているときのみ利用できる機能です。

* マークのないところは、すべてのモードで共通に利用できる機能です。

操作手順説明

順番に操作を説明します。

目次

はじめに

はじめに

安全上のご注意	3
1. 本電話機、電池パック、充電台 の取り扱いについて (共通).....	4
2. 本電話機の取り扱いについて.....	5
3. 電池パックの取り扱いについて.....	7
4. 充電台およびACアダプタの 取り扱いについて.....	9
取り扱い上のお願ひ	11
防水性能について	12
取扱説明書の見方	18

基本操作編

1 お使いになる前に

特長.....	26
セットの確認.....	28
各部の名称.....	29
電話機.....	29
液晶ディスプレイの見方 (ソフトキー、アイコン).....	31
準備.....	35
電池パックをセットする・交換する.....	35
電池パックの寿命	37
電池の使用時間の目安.....	38
電話機を充電する	39
電源を入れる	42
電池残量を確認する.....	43
自局番号を確認する.....	44
認証情報を確認する	45
時計を設定する	46

2 基本的な操作

モードとは.....	50
使い方とモード.....	51
モードを切り替えるには.....	52
オフィスで内線電話として使う 56	
事業所コードレスシステムモードで できること.....	56
外線発信番号を登録する.....	58
電話をかける.....	61
まず確認してください.....	61
電話をかける.....	62
外線電話をかける.....	65
電話を受ける.....	66
相手の方に待っていただくには (保留).....	68
電話を取り次ぐには (保留転送).....	69
かけ直すには.....	70
かけ直す.....	70
着信/発信履歴を利用する.....	72
受話音量を変える.....	75
通話中に変える.....	75
待受時に変える.....	76
マイク音量を変える.....	77
着信音を変える.....	78
メロディを変える.....	78
音量を変える.....	80

マナーモードにする.....	81
マナーモードにする.....	81
マナーモードの状態を切り替える.....	82
マナートーク.....	84
バイブレータ着信に設定する.....	85
ハンドオーバ通知音を設定する.....	88
文字の入力操作.....	89
入力モードの切り替え.....	89
漢字・ひらがな入力.....	92
カタカナ・英字入力.....	95
文字の削除.....	97
文字の挿入.....	98

1
基本
操作編

2
基本
操作編

基本操作編(つづき)

3 電話帳を使う

電話帳を登録する	100
新規登録する	100
電話帳を利用して電話を かける	105
名前(フリガナ)で検索する	105
グループで検索する	106
電話帳を修正する	108
名前を変更する	108
電話番号を追加する	109
電話番号を変更する	110
電話帳を削除する	111
電話帳を全削除する	112
電話帳をロックする	113
電話帳を転送する	115

活用編

4 PBXの機能を利用する

PBX機能でできること	120
ソフトキーとは	120
PBX機能を設定する (ソフトキー)	122
有効になっている機能を確認する ..	122
PBX間のローミング機能 を利用する	124

5 より便利に使う

暗証番号を利用する.....	126
暗証番号を利用する場面.....	126
暗証番号を設定・変更する.....	126
メール機能.....	128
メールの作成.....	128
受信メールの確認.....	131
送信メールの確認.....	133
送達確認音の設定.....	135
着信メール表示.....	136
返信時引用の設定.....	137
音/バイブレータ機能.....	138
キータッチトーン.....	138
時計機能.....	139
アラームを設定する.....	139
留守録機能.....	142
留守録/ドライブをONにする.....	142
留守録を消去する.....	146
各種設定.....	147
画面の明るさを設定する.....	147
ディスプレイの点灯時間を 設定する.....	149
キーバックライト.....	150
内線番号表示.....	151
Fキー機能.....	152
ツータッチダイヤル.....	156
エニーキーアソサ.....	157
クイック機能.....	158

セキュリティ.....	160
パスワードロック.....	160
設定をリセットする.....	162
ボタン操作の機能.....	163
キーロック.....	163
発信番号付加機能.....	165
トランシーバとして使う.....	166
トランシーバモードでできること.....	166
トランシーバ登録する.....	167
公衆機能を使う.....	170
発信者番号を通知する (通知しない).....	170
料金分計サービス.....	172
留守番電話サービス.....	173
着信拒否設定.....	174
指定着信拒否.....	178
ドライブモード(安全運転モード).....	181
リモートロック.....	183

3
基本
操作編

4
活用
編

5
活用
編

6 メンテナンス

メニュー機能一覧	188
オプション	193
オプション紹介	193
故障かな?と思ったら	194
索引	198
仕様	201
本体	201
アフターサービスについて	202
保証について	202
アフターサービスについて	202

1

お使いになる前に

特長.....	26
セットの確認.....	28
各部の名称.....	29
電話機.....	29
液晶ディスプレイの見方 (ソフトキー、アイコン).....	31
準備.....	35
電池パックをセットする・交換する.....	35
電池パックの寿命.....	37
電池の使用時間の目安.....	38
電話機を充電する.....	39
電源を入れる.....	42
電池残量を確認する.....	43
自局番号を確認する.....	44
認証情報を表示する.....	45
時計を設定する.....	46

特長

お使いになる前に

1
基本
操作編

特長

事業所コードレスシステムモード

事業所コードレスシステム機器に接続すれば携帯型の内線電話機としてお使い頂けます。会社内で持ち歩けば、内線通話や外線通話がいつでもどこでもつながります。なかなか自分の席に戻れない人に最適です。(→P56)

最大1000件の電話帳

最大1000件の電話帳を登録できます。また、1件につき、3つまでの電話番号を登録できます。(→P100)

公衆サービス

公衆サービスに加入されますと、本電話機を外に持ち出して利用することができます。リモートロック、Air発信、着信拒否機能に対応しています。
※必ず公衆サービスへの加入が必要です。(→P50)

接続先変更

屋内/公衆デュアルモードで発信する際、保留ボタンを長押し(2秒以上)することで、接続先のモードを簡単に変更することができます。(→P52)

移動中でも途切れにくい

移動時などは条件のよいアンテナを通話中に検索することによって、アンテナ切替えの時間が短くなりました。
※電波状態によっては通話が途切れる場合があります。

「混み合っています」表示

発信時に近くのアンテナの回線がすべて使用中でつながらないとき、「混み合っています」と表示します。意味も無くつながらないというイライラがありません。
※事業所コードレスシステムでご利用の場合のみ表示します。

発信番号付加

発信する際、サブメニューキーを押すことで、表示している電話番号の先頭に外線発信用の「0」などの特別番号を組み合わせることで発信することができます。(→P165)

同時に2つのモードの待ち受けが可能 (デュアルモード)

2つのモードで待ち受けことができ、どちらのモードでも電波が届いていれば受信可能です。本電話機1つで内線電話機としてもPHSとしてもお使い頂けます。(→P51)

電話帳編集ソフトウェア対応

パソコンからの操作で電話機に新たなデータを登録したり電話帳の内容を簡単に変更することができます。パソコンには、USBで接続します。

※ 詳細は販売店にお問い合わせください。

新デザイン&操作性改善

コンパクトなボディに大きくて見やすいカラー液晶画面を搭載。また、ソフトキーの機能改善により、使いたい機能をすぐに利用できます。

防水・防塵対応 (IP55 / IP57)

埃の多い現場での利用や、思わぬ水濡れにも安心なIP55 / IP57の防水・防塵に対応していますので、安心して利用できます。

シンプルメール対応

構内にて本電話機の間でテキストメッセージをやりとりできます。また、メッセージ送信システムを利用して、複数の本電話機へメッセージを同報できます。(→P128)

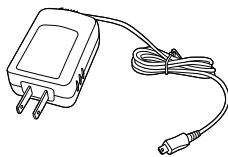
セットの確認

お使いになる前に

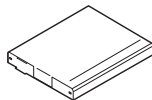
はじめに、セット内容を確認してください。
セットに足りないものがあった場合は、販売店等へご連絡ください。



電話機×1



ACアダプタ×1



電池パック×1

1
基本
操作編

セットの確認



早分かりガイド×1

各部の名称

◆ 電話機

前面

受話口

着信/充電ランプ(→P30)

機能キー

上下左右を押すと機能メニューを選択します。
中央を押すと表示中の項目の確定や機能を実行します。

液晶ディスプレイ(→P31)

フレキシブルキー
(F1キー、F2キー)

任意に設定したダイヤル情報で発信するときに使います。
ソフトキーを選択するときに使います。

電話帳ボタン
電話帳を表示します。

保留ボタン

通話を保留にするときや、事業所コードレスシステムモードで転送をするときに使います。

クリアボタン
画面の文字を消すときに利用します。
直前の画面に戻る時に使います。

通話ボタン

電話をかけたり受けたりします。

電源/切ボタン
電源の入/切や、電話を切るとき、操作を中止するときなどに使います。

留守録/ドライブボタン

留守録/ドライブを有効にしたり、解除するときに使います。

ダイヤルボタン
電話番号をダイヤルしたり、文字を入力します。

マナーボタン

マナーモードを有効にしたり解除するときに使います。

送話口(マイク)

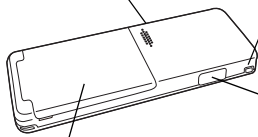


背面 / 側面 / 底面

アラーム口

着信音、警告音などの音が鳴ります。

ハンドストラップ取り付け穴



電池カバー(→P35)

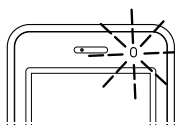
USB端子

ACアダプタやUSBケーブル、イヤホンマイク(別売)を差し込んで利用します。

マイクロUSBの規格に準拠したイヤホンマイクでは、イヤホンマイクの操作で応答、切断が可能です。対応の可否はイヤホンマイクの仕様によるため、イヤホンマイクの仕様を確認の上、使用してください。

ランプ表示

着信/充電ランプ



ランプ	ランプのつき方	電話機の状態
着信時	点滅(緑)	電話がかかってきたとき
充電時	点灯(赤)	充電中のとき
	点灯(赤→消灯)	充電が終了したとき



フポイント

- 着信時の点滅は、赤、緑、オレンジに変更できます。
- 不在着信あり、メール着信あり、アラームがあると緑点滅になります。

◆ 液晶ディスプレイの見方(ソフトキー、アイコン) ～こんなときに表示されます～



①	電池残量(→P43)
②↑(圏内)	電波が届いている場所にいるとき(→P61)
③	電波レベル) 受けている電波の強さ
④	公衆モードのとき(→P50)
⑤OS1、TRSなど	事業所コードレスシステムモード、トランシーバモードのとき(→P50) デュアルモードのときは、表示されているモードが優先となります。また、自局番号を非表示とすることもできます。
⑥	その他の表示部分
⑦	ソフトキー

～ソフトキー～

OS(事業所コードレスシステムモード)で利用できる機能が表示されます。機能キーを上下左右に押して機能を選択します。

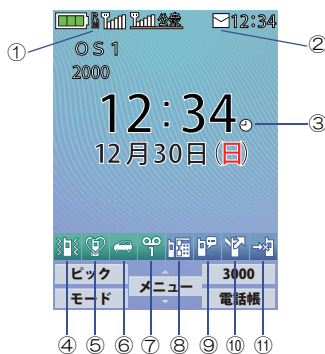
表示されるメニューは、登録しているPBXの機種や待受時/通話中などの条件によって異なります。また、PBX側での設定が必要なため、設定方法については工事・保守者にお問い合わせください。

画面の一例



メニュー	機能メニューの選択画面を呼び出す(→P34)
聞き取り	VoiceMail(通話録音装置の音声メッセージ)を聞く
通話録音	通話録音をする
録音転送	すべての着信を通話録音装置へ転送する
不在転送	すべての着信を転送する
話中転送	通話中の着信を転送する
圏外転送	圏外または電源OFF時の着信を転送する
不応答転	一定時間不応答の着信を転送する
転先不在	離席時に移動先の電話機から転送設定ができる
キャンプ	呼び出し先が通話中のとき通話が終わり次第呼び出しがある
会議	通話中に他者を呼び出し三者通話を行う
着信拒否	着信を規制する
割込拒否	割込通話を規制する
割り込み	通話中の内線に接続する
ウェイト	相手通話中に割り込み音を送る
ピック	グループ内の他の番号への着信に応答する
シェア	本電話機と多機能電話機が1つの電話番号を使用する
パーク	保留した通話に別の電話機から応答する
客室状態	客室状態を設定する
発信制限	発信を制限する
着信制限	着信を制限する

～表示されるアイコンの意味～



①		ローミング機能を利用している(→P124)
②		シンプルメールが届いている
③		アラームを設定している(→P139)
④		着信がバイブレータになっている(→P85)
		着信がサイレントになっている(→P80)
⑤		「マナーモード」を設定している(→P81)
⑥		ドライブモードを設定している(→P142)
⑦		留守録を設定中
⑧		ワンナンバシエアリングを設定している
⑨		VoiceMail(通話録音装置から音声メッセージ)が届いている(→P120-123)
⑩		OSで転送(不在転送、録音転送)を設定している
⑪		OSで着信拒否を設定している

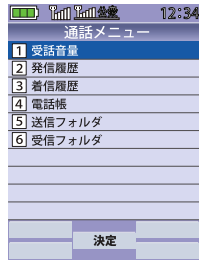
～機能メニュー～

機能キーの[メニュー]を選択すると、以下のメインメニューが表示されます。

待受時



通話時



ソフトキーが表示されていないときは、機能キーの中央を押すとメインメニューが表示されます。

メインメニュー(待受時)

① メール	メール機能(→P128)
② 音/バイブレータ	着信音や着信音量の設定(→P78)
③ 電話帳	電話帳の参照や登録(→P100)
④ 時計/アラーム	時計の設定やアラーム(→P139)
⑤ 留守録/ドライブ	留守録の録音・設定(→P142)
⑥ 各種設定	画面、Fキーなどの設定(→P147)
⑦ セキュリティ	パスワードロックやキーロックの設定(→P163)
⑧ 認証情報表示	認証情報の表示(→P45)

通話メニュー(通話時)


① 受話音量	受話音量の設定(→P75)
② 発信履歴	発信履歴の参照(→P72)
③ 着信履歴	着信履歴の参照(→P72)
④ 電話帳	電話帳の参照や登録(→P100)
⑤ 送信フォルダ	送信メールの確認(→P133)
⑥ 受信フォルダ	受信メールの確認(→P131)

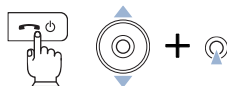


- 機能メニューは、メニューの左に表示されている数字を直接入力することでも選択できます。

準備

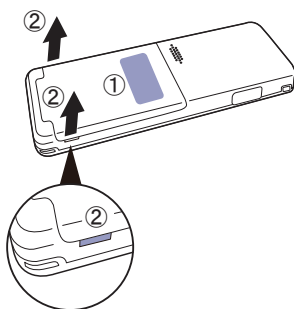
◆ 電池パックをセットする・交換する

- 1 (交換時のみ)電源を切るときは、 ボタンを押し続けると「シャットダウンしますか?」と表示されるので「YES」を選択します。

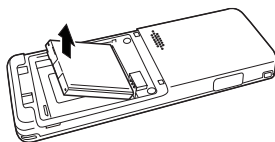


- 2 電池カバーを取り外します。

①部分に指を添えて、②部分に指先をかけてリアカバーを矢印の方向に持ち上げます。



- 3 (交換時のみ)電池パックを取り出します。

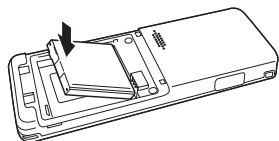


お願い

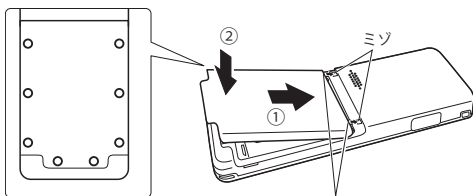
- 電池カバー、USB端子のキャップの開閉などをするときは手袋などをしたまま操作しないでください。また、カバーやキャップにゴミなどが付着しないようにしてください。ゴムパッキンの接触面に微細なゴミ(髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など)がわずかでも挟まると、本体内部に浸水する原因となります。微細なゴミが付着している場合は、乾いた柔らかい清潔な布で拭き取ってください。

4 電池パックを入れます。

接続コネクタの向きに注意してしっかり押し込みます。



5 電池カバーを取り付けます。



○部分をしっかりと押し、
本電話機とすきまがないことを
確認してください。

リアカバーの
ツメを本電話機の
ミソに差し込む

1

基本
操作編

準備



お願い

- 電池パックは、必ず電源を切ってからセットしてください。電源を切らないで電池パックを取り外すと、電話帳データなどの情報が損なわれますのでご注意ください。
- 長時間ご使用にならない時は、充電してから電池パックを取り外して保管してください。
- ご使用にならない場合でも、3か月に1回は必ず充電してください。
- 電池パックを取り出すと時計設定が消えてしまいます。再度時計を設定してください。

◆電池パックの寿命

電池パックは消耗品です。どのような充電式電池も、充電を繰り返すごとに1回の使用時間が次第に短くなっていきます。

また、充電後もACアダプタや充電台に接続したままの場合、充電と放電を繰り返し、電池の消耗が早まります。電池の消耗に伴い電池パックが膨らむ場合がありますが、これはリチウムイオン電池の特性です。誤った使用をされない限り安全上に問題はありますが、電池は消耗しているため、早期に交換をしてください。

1回の使用時間が使用開始時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命とお考えください。(電池パックの寿命の目安は、約1年です。)



密閉型蓄電池のリサイクルにご協力ください。

Li-ion

◎電池パック不要時の処理方法

- (1) リチウムイオンはリサイクル可能な貴重な資源です。
- (2) 交換後不要になった電池パックのリサイクルに際しては、ショートによる発煙、発火の恐れがありますので、端子を絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて、当社営業担当者または販売店へご連絡いただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。



● 電池パックについて

電池パックの取り扱いには、次の点にご注意ください。

- 本電話機専用の電池パックと充電台を使用してください。
- 火の中に投入したり加熱しないでください。火のそばや、炎天下等の高温になる場所での使用、充電、放置は避けてください。
- プラス(+)、マイナス(-)を逆にしたり、針金等の金属で接続しないでください。
- また、金属製のネックレスやヘアピン等と、一緒に持ち運んだり、保管しないでください。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたりしないでください。
- ハンダ付けや分解、改造はしないでください。

◆ 電池の使用時間の目安

条件		使用可能時間
モード	連続	
事業所コードレスシステムモード	待受	約500時間
	通話	約6時間
公衆モード	待受	約500時間
	通話	約6時間
屋内/公衆デュアルモード	待受	約340時間
	通話	約6時間

(電池の使用時間は、充電時間や電池の劣化度で異なります。)

※ 連続通話時間

充電完了後、ずっと通話だけを行った場合に使用可能な時間の目安です。

※ 連続待受時間

充電完了後、一度も通話や操作をせずに、連続して待受状態を保つことが可能な時間の目安です。

- ・電波の届かない場所、電波の弱い場所での待受は電池の消耗が多いため、連続待受時間が短くなります。



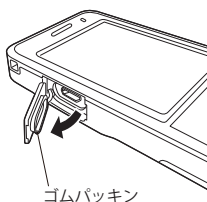
ポイント


- 電池の使用可能時間は、電波が安定した状態で算出した弊社計算値です。電波の弱い場所での通話や電波の届かない場所での待ち受けは電池の消耗が多いため、表中の時間より短くなります。
- 充電のしかたや電池の劣化度、使用環境によって、表中の時間は変化します。
- 実際にご利用になれる時間は、待受時間と通話時間の組み合わせになりますので、着信があったり、通話時間や移動距離が長い場合は短くなります。

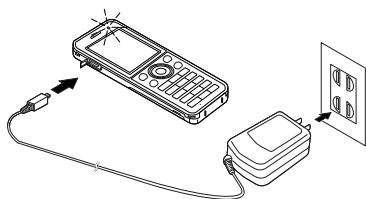
◆ 電話機を充電する

ACアダプタで直接充電する


- 1 USB端子カバーを外します。



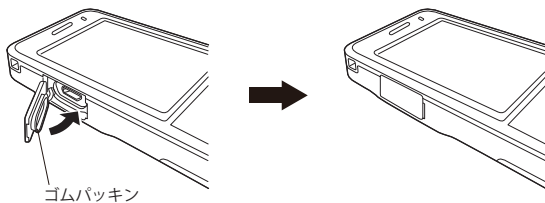
- 2 ACアダプタを電源コンセント(AC100V)と電話機に差し込みます。
電話機に正しく差し込まれると、電話機の充電ランプが赤色に点灯し「」が表示されます。
はじめてお使いになるときや、電池パックを交換したときは、必ず充電してください。



充電時間の目安
約180分

充電が完了すると充電ランプが消灯し、「」の表示が通常の表示に変わります。

- 3 充電が完了したら、USB端子カバーを取り付けます。
キャップ周辺部分にゴムパッキンが付いていることを確認してから、きっちりと閉じてください。



1. キャップを押し込みます。

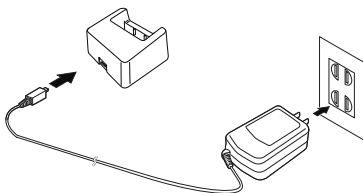
2. きっちり閉まったことを確認します。




- 電池パックが空になった状態から長時間放電した後など、電池パックの残量がまったくない状態から充電する場合、充電を行っても充電ランプが点灯するまでに3分程度かかることがあります。
- 充電を開始してから30分経っても充電ランプが点灯しない場合は、電池パックを交換してください。

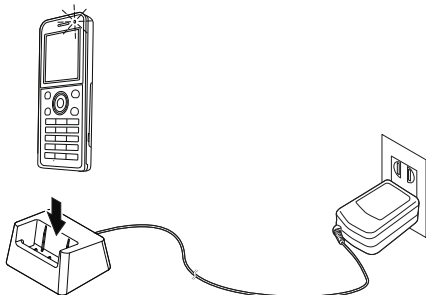
充電台で充電する

1 ACアダプタを電源コンセント(AC100V)と充電台に差し込みます。




2 電話機の向きに注意して充電台に差し込みます。

電話機が充電台に正しく設置されると、電話機の充電ランプが赤色に点灯し「」が表示されます。
はじめてお使いになるときや、電池パックを交換したときは、必ず充電してください。



充電時間の目安
約150分

充電が完了すると充電ランプが消灯し、「」の表示が通常が表示に変わります。



重要

- 充電台はオプションのため、別途手配が必要です。手配については、販売店へお問い合わせください。
- 充電中は、充電台や電話機があたたかくなりますが、故障ではありません。
- 電話機や充電台がぬれているときは、乾いた布で水分をふき取ってから充電してください。
- 電話機は、USBケーブルを使用して充電することもできます。




お願い

- 充電台に金属を入れないでください。
- 5～35℃の状態で使用してください。
- 本電話機専用の電池パックと充電台を使用してください。

◆ 電源を入れる

1




待受画面が出るまで  を押し続けます。

日付・時刻と電池残量が常時表示されます。(待受画面)


充電するときは、待受画面になったことを確認してから充電してください。




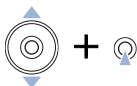
※ お買い上げ時は日付・時刻は設定されていないので「時計機能」を設定してください。(→P46)

※  圏外マークが表示されているときは、サービスエリア外、または電波の届かない場所(圏外)にいます。
 圏外マークが消え、「」マークが表示される場所(圏内)まで移動してください。



※ 電波が強く「」マークが表示されていて、移動せずに通話しているときでも、通話が切れる場合があります。

電源を切るときは、 ボタンを押し続けると「シャットダウンしますか?」と表示されるので「YES」を選択します。

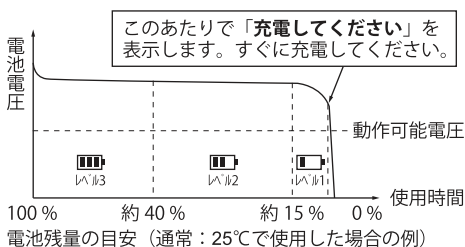



ワンポイント

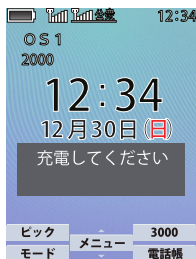
- 着信拒否など PBX 側の機能でアイコン表示がされている場合、着信、発信をしない限りアイコンは表示されません。
- 電源を切るときの確認画面を非表示に設定できます。
メインメニュー→<6.各種設定>→<1.画面設定>→<5.電源OFF確認画面>

◆ 電池残量を確認する

電池残量は、常に画面で確認できます。
ご使用になる前に、電池残量を確認してください。



電池残量がなくなると、電池切れアラームが10秒ほど鳴り以下の画面が表示されます。電池切れアラームを止めるには  を押します。



通話中の場合はこの画面とともに「ピッピッピッ」という警告音が鳴ります。約20秒後に通話が切れますので、すみやかにお話を終えて、充電してください。
「充電してください」が表示された数分後に、電源が切れます。



- 電源が切れると時計設定が消えてしまいます。再度時計を設定してください。

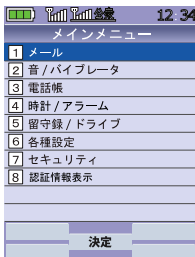
◆ 自局番号を確認する

お客様の電話番号を確認できます。事業所コードレスシステムモードやトランシーバモードでお使いの場合は、それぞれの番号を確認できます。

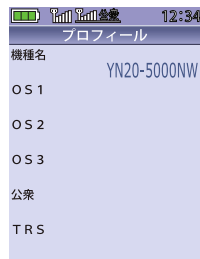
- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。




- 2 「0」を押します。



- 3 番号を確認します。



- 4  ボタンを押します。
待受画面に戻ります。



◆ 認証情報を確認する

本電話機が適合している認定マークおよび認定番号を確認することができます。

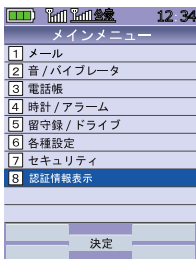
- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 3 認証情報を確認します。



- 2 <認証情報表示>を選択します。



- 4 [電源] ボタンを押します。
待受画面に戻ります。

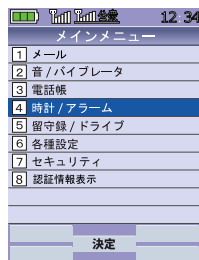
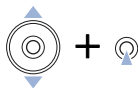


◆ 時計を設定する

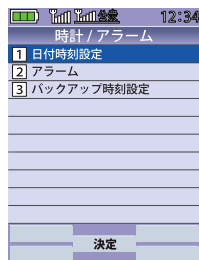
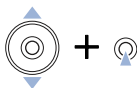
- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2 <時計/アラーム>を選択します。



- 3 <日付時刻設定>を選択します。



4 時刻を設定します。

ダイヤルボタンで入力します。機能キーの左右を押すとカーソルを移動できます。



カーソル



5 日付を入力します。

時刻と同様にダイヤルボタンで入力します。




6 機能キーの中央を押します。



設定が完了します。
設定完了時に、0秒から時計が動作します。

7

 ボタンを押します。
待受画面に戻り、設定した日付時刻が表示されます。



- 電池パックを取り外したり、電池パックの電池残量がなくなると、時計設定が消えてしまいます。再度時計を設定してください。



- 機能メニューは、メニューの左に表示されている数字を直接入力することでも選択できます。
- 選択したメニューから戻るときはクリアボタンを、操作を中止するときは電源/切ボタンを押してください。
- 日付の有効範囲は2013年1月1日～2099年12月31日です。2099年12月31日23:59以降は時計が進みません。
- 時計の精度は、1ヶ月に±60秒程度の誤差があります。(25℃常温の場合)

2

基本的な操作

モードとは.....	50	マナーモードにする.....	81
使い方とモード.....	51	マナーモードにする.....	81
モードを切り替えるには.....	52	マナーモードの状態を切り替える.....	82
オフィスで内線電話として使う 56		マナートーク.....	84
事業所コードレスシステムモードで できること.....	56	バイブレータ着信に設定する.....	85
外線発信番号を登録する.....	58	ハンドオーバ通知音を設定する 88	
電話をかける.....	61	文字の入力操作.....	89
まず確認してください.....	61	入力モードの切り替え.....	89
電話をかける.....	62	漢字・ひらがな入力.....	92
外線電話をかける.....	65	カタカナ・英字入力.....	95
電話を受ける.....	66	文字の削除.....	97
相手の方に待っていただくには (保留).....	68	文字の挿入.....	98
電話を取り次ぐには (保留転送).....	69		
かけ直すには.....	70		
かけ直す.....	70		
着信/発信履歴を利用する.....	72		
受話音量を変える.....	75		
通話中に変える.....	75		
待受時に変える.....	76		
マイク音量を変える.....	77		
着信音を変える.....	78		
メロディを変える.....	78		
音量を変える.....	80		

モードとは

基本的な操作

本電話機は、オフィスの内線電話としてだけでなく、公衆基地局を通し、PHSとして使用することもできます。

(公衆サービスを利用するときは、公衆事業者との契約が必要です。)

公衆モード	事業所コードレスシステムモード
公衆サービスとして使用します。 電話番号は、公衆サービスの契約番号です。 公衆基地局から、電波を受信して通話します。	事業所コードレスシステムサービス対応機器に登録して内線電話機として外線通話や内線通話にご利用になれます。 事業所コードレスシステムサービス対応機器のご購入と登録が必要です。(→P56)

2

基本操作編

モードとは



- モードを切り替えるには
事業所コードレスシステムモード、公衆モードを使い分ける場合は、モードの切り替えが必要です。(→P52)
1つのモード固定で使用する「シングルモード設定」と、2つのモードの電波を両方とも受信できる「デュアルモード設定」の2種類があります。(→P52)
- トランシーバモード (→P166)
同じ事業所コードレスシステムサービス対応機器に登録した電話機どうしで直接通話できます。

◆使い方とモード

本電話機は、オフィスの内線電話としてだけでなく、公衆アンテナを通し、PHSとして使用することもできます(公衆サービスを利用するときは、公衆事業者との契約が必要です)。

	モード(表示名)	一般的な使用例	使用する電話番号
屋内系	事業所コードレスシステム(OS1~3)	オフィスの内線電話の子機として利用します。	オフィスの一般回線用電話番号および内線番号
	トランシーバ(TRS)	トランシーバとして利用します。	呼び出し番号
公衆系	公衆サービス	屋外の公衆アンテナを通じて公衆サービスを利用します。	公衆サービスの電話番号(070xxxxxxxx)

- * 事業所コードレスシステムモードで使用するには、それぞれ事業所コードレスシステム対応機器が必要です。
- * 公衆系のモードで使用するには、公衆事業者との契約が必要です。

モードの選択—シングルモードとデュアルモード

ご使用の形態に合わせて、あらかじめモードを設定する必要があります。本電話機では、それぞれのモードを固定で設定できる「シングルモード」と、2種類のモードを常時有効にしてどちらの着信にも応答できる「デュアルモード」が選択できます。


「デュアルモード」は、オフィスなどで本電話機を内線電話として使用するほかに、PHSとしても使用しているため、内線の着信とPHSの着信の両方に応答できるので便利です。

現在、どのモードが選択されているかは、電話機の画面で確認できます。発信するときは、優先されているモードで発信されます。

OS1~3に子機登録されている場合は、「デュアルモード」の時にOS1からOS3まで順番に接続を行い、接続できたOSモードで待ち受けます。

◆モードを切り替えるには

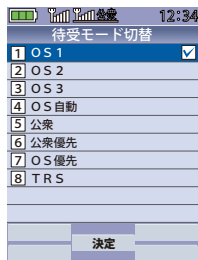
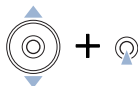
モード選択

1  を長く(2秒以上)押します。



2 モードを選択します。

機能キーの上下を押して選択し、機能キーの中央を押して確定します。



表示されるモード

シングルモード	デュアルモード
OS1~3	公衆優先
↓	↓
OS自動	OS優先
↓	
公衆	
←	
TRS	



- 公衆事業者と契約していない場合、デュアルモードの公衆優先、OS 優先はグレーアウトされます。
- 着信拒否など PBX 側の機能でアイコン表示がされているモードに変更した場合、着信、発信をしない限りアイコンは表示されません。

接続先一時変更

発信するときにデュアルモードで優先になっているモードを切り替えます。例えば、OS優先のとき、一時的に公衆の番号で発信したい場合などに利用します。

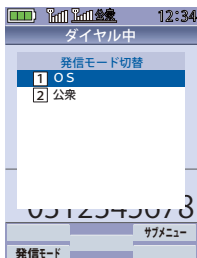
1 相手先の電話番号を入力します。

電話帳や着信/発信履歴から検索することもできます。

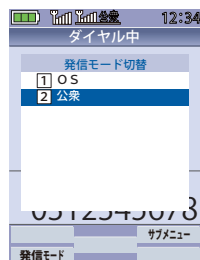
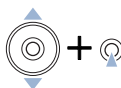


2 保留を押します。

発信モード切替が表示されます。



3 発信モードを選択します。



4 発信を押します。

入力した電話番号がダイヤルされます。



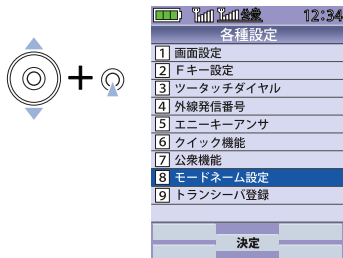
選択したモードで発信していることを確認します。

モード名を変更する

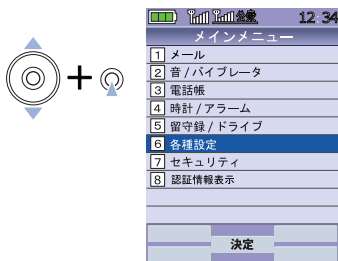
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



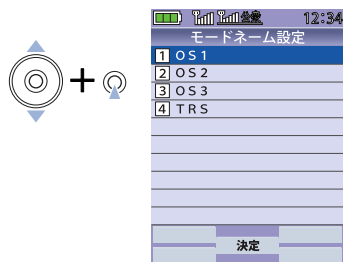
- 3** <モードネーム設定>を選択します。



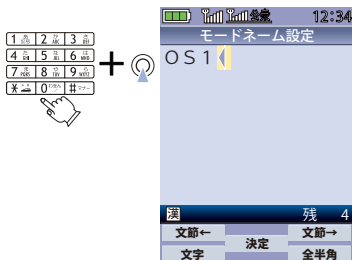
- 2** <各種設定>を選択します。




- 4** 名前を変更するモードを選択します。



- 5** 新しい名前を入力します。
 ダイヤルボタンで入力し、機能キーの中央を押して確定します。
 全角5文字(半角10文字)まで入力できます。



- 6**  ボタンを押します。
 待受画面に戻ります。



ワンポイント

- 変更した名前を削除すると、ご購入時の名前にもどります。
- 文字の入力方法は、「文字の入力操作」を参照してください。(→P89)



オフィスで内線電話として使う

事業所コードレスシステムサービス対応機器に登録すると、オフィスなどの内線電話としてご利用いただけます。



◆ **事業所コードレスシステムモードでできること**
一般のオフィスの内線電話機と同様の操作で使用できます。

電話をかける(内線)


内線電話としてかける


- (1) 電話番号を入力します。
(電話帳や着信/発信履歴から検索することもできます。)
- (2) を押します。
- (3) 接続されたらお話しします。
- (4) お話しが終わったら を押します。

電話を受ける

- (1) 着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
- (2) を押します。
(クイック応答がONのときは、充電台から持ち上げるだけで応答できます。)
- (3) お話しが終わったら を押します。

相手の方に待っていただく(保留)

- <保留にする>
を押します。

- <通話を再開する>
再度、を押します。




- 設置する事業所コードレスシステムサービス対応機器や接続装置等の種類によっては、ご利用になれない機能や操作方法が異なる場合があります。接続装置の取扱説明書を併せてお読みいただくか、事業所コードレスシステムサービス対応機器の保守担当の方にお問い合わせください。


電話を取りつぐ(保留転送)

一度受けた電話を、他の電話機に転送できます。

＜転送するとき＞

- (1) お話し中に  を押します。
- (2) 取りつぐ電話機の内線番号を入力します。
- (3) 接続されたら取りつぐことを伝え電話を切ります。

＜転送されたとき＞

- (1) 着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
- (2)  を押します。
(クイック応答がONのときは、充電台から持ち上げるだけで応答できます。)
- (3) 転送元の電話が切れたら、転送された方とお話できます。

外線電話をかける(外線発信番号付加)

社外に電話をかける際は、「0」番などの外線発信番号を付けてダイヤルします。あらかじめ「外線発信番号」を設定しておけば、簡単な操作で外線発信番号を付加することができます。(→P58, 165)

PBX間ローミング機能

あらかじめ登録してある他の会社などの構内でも、同じ内線番号で内線電話として使用することができます。(→P124)

VoiceMail連動

オプションの通話録音装置にVoiceMailが届くと、自動的に電話機に通知されます。



- 事業所コードレスシステムモードを利用する場合は、OSの「シングルモード」または「デュアルモード」にしてください。



◆外線発信番号を登録する

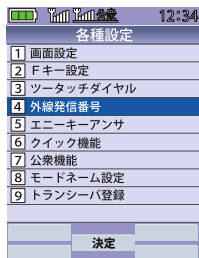
外線発信番号を登録しておけば、発信番号付加機能を利用して外線電話をかけることができ便利です。

外線発信番号を登録する

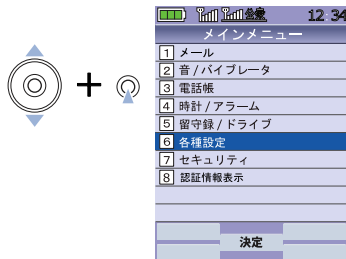
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 3** <外線発信番号>を選択します。



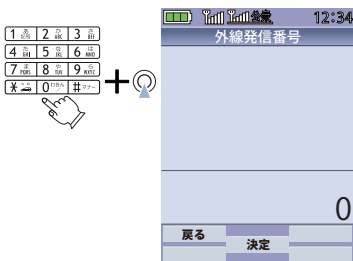
- 2** <各種設定>を選択します。



- 4** <外線発信番号>を選択します。



- 5** 外線番号を入力します。
ダイヤルボタンで入力し、機能キーを押して確定します。



- 6** [戻る] ボタンを押します。
待受画面に戻ります。



- 外線発信番号を付加して電話をかけるには、「発信番号付加機能」を利用します。(→P165)

自動付加

外線発信番号を自動付加する場合に設定します。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2** <各種設定>を選択します。



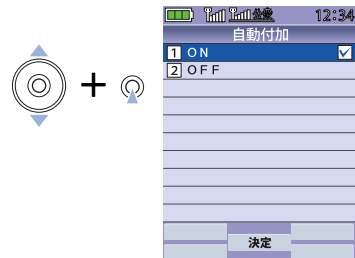
- 3** <外線発信番号>を選択します。



- 4** <自動付加>を選択します。



- 5** <ON>を選択します。



電話をかける

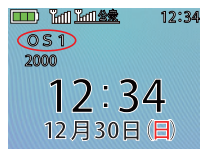


◆まず確認してください

電話をかける前に、使用するモードや電波状態など画面で確認します。

モードの確認

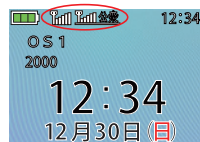
オフィスなどで内線電話として電話をかけるときは、画面に「OS1(/2/3)」と表示されていることを確認します。






- 公衆モードで使用する場合は「公衆」が優先になっているかどうかを確認します。

電波状態の確認

「屋内」側、「公衆」側のアンテナアイコンの状態を確認します。




電波受信圏内では、画面に  と、電波の強度を示す  が表示されます。電波が強いほど、電波の受信感度がよく、通話の状態も良くなります。

電波の届かない場所(圏外)では、 が表示されず、**圏外**が表示されます。この場合、通話できません。



また、電波の弱い場所(, )でも通話できないことがあります。



- 電波が弱いときなど、待受中に  ボタンを長押しすることで、基地局に再接続できます(グッドウェーブ機能)。



◆ 電話をかける

1 相手先の電話番号を入力します。

押し間違えた場合はクリアボタンで文字を消して入力し直します。クリアボタンは短く押すと1文字ずつ、長く押すとすべての文字を消します。
電話帳や着信/発信履歴から検索することもできます。



2 ボタンを押します。 入力した電話番号がダイヤルされます。



発信していることを示しています



- 3 相手の方が出たらお話ください。
 通話時間が表示されます。



- 4 通話終了後、 ボタンを押します。





- 事業所コードレスシステムモードで電話をかけたときに接続装置の回線がすべて通話中のとき「混み合っています」と表示します。
 - を押してから電話番号を入力しても電話をかけられます。
 - 通話時間は最大99時間59分59秒まで表示し、その後は0秒に戻ります。
 - 電池残量が少ないと途中で電源が切れることがあります。ご使用になる前に、電池残量を確認してください。
 - 通話中に を押すと、通話を保留します。再度 を押すと、再開できます。ただし、保留中に を押ししたり充電台に戻すと(クイック終話がONのとき)、通話が切れてしまいます。
 - 番号入力時に を長押しするとポーズ「P」が入力できます。ポーズを利用すると、電話をかけてからポーズ以降のダイヤルを送信できるので、「自宅の留守番電話のリモートコントロール用暗証番号」など、様々な操作が簡単に利用できます。
 - ・ を押すとポーズ以降の番号が送信されます。
- <例> 自宅の留守番電話を再生する
- | | |
|---|-----|
| 外線発信番号: 0
自宅の電話番号: 0312345678
留守番電話の暗証番号: #1234
留守番電話の再生番号: #1 | の場合 |
|---|-----|
- (1) 「外線発信番号」+「電話番号」+「P(長押し)」+「暗証番号」+「P(長押し)」+「再生番号」を入力します。
00312345678P#1234P#1
 - (2) を押して電話をかけます。(00312345678が発信されます)
 - (3) 留守番電話が応答したら を押します。(#1234 が送信されます)
 - (4) 再度 を押します。(#1 が送信され、留守番電話が再生されます)
- (1)の番号を電話帳に登録しても同様に操作できます。
- 「通話終了しました」が表示されているときは、ダイヤル操作ができません。



- 警察(110)、海上保安庁(118)、消防・救急(119)にかける場合は、次の点にご注意ください。
 - ・ 対応がスムーズに行えるようPHSからの電話であることをお知らせください。
 - ・ 通話中に電波が途切れることのないよう、立ち止まってお話しください。
 - ・ 警察(110)、消防・救急(119)からの呼び返しができるように、通話終了後も電源を切らないでください。また、圏外へ出ないように注意してください。
 - ・ 所在等が不明な場合は、近くの公衆電話等を利用して通報してください。
 - ・ 消防・救急(119)へは、一部地域で接続できない場合があります。



◆ 外線電話をかける

設定してある外線発信番号を組み合わせる外線電話をかけます。(発信番号付加機能)

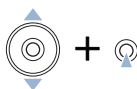
1 相手先の電話番号を入力します。

電話帳や着信/発信履歴から検索することもできます。

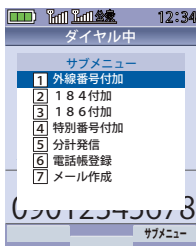


3 <外線番号付加>を選択します。

登録されている外線発信番号が付加されます。



2 [サブメニュー]を押します。



4 を押します。

外線発信番号と電話番号がダイヤルされます。



フアンポイント

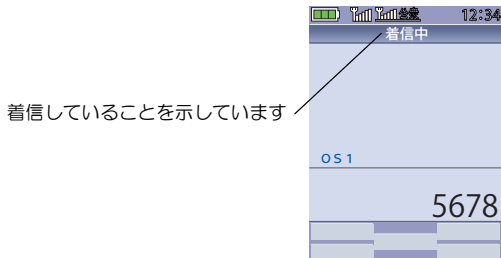
- 外線発信番号は<外線発信番号登録>であらかじめ登録しておいてください。(→P58)
- 発信番号付加機能には、外線発信番号付加の他、各種付加機能があります。(→P165)
- 手順3で<特別番号付加>を選択して外線発信番号を入力しても外線電話をかけられます。
- 0で始まる10桁以上の番号へ発信する場合に、外線発信番号を自動的に付加する自動付加(→P60)の機能があります。

電話を受ける




基本的な操作

- 1 着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。**
相手の方の電話番号や電話帳に登録している名前が表示されることがあります。PBXによっては、PBX側に登録してある情報(相手の方の番号や名前)が表示されることがあります。



2 基本操作編

電話を受ける

- 2  ボタンを押します。**
エネキーアンサ機能を「ON」に設定している場合は、ダイヤルボタンでも応答できます。(→P157)




- 3 相手の方とお話してください。**
通話時間が表示されます。



4 通話終了後、 ボタンを押します。








～不在着信があったときは～

- ・不在着信があったときは、画面に「着信あり」の表示がされ、LEDが点滅します。
- ・不在着信の表示を消す場合は、F1 キー、クリアボタンまたは電源/切ボタンのどれかを押ししてください。
- ・不在着信ありのLEDを消すには、機能キーの左を押して着信履歴を開いてください。
- ・「着信あり」の画面で  ボタンを押すと折り返しで電話をかけることができます。
(番号なしの場合はできません。)



ワンポイント

- 着信音は変更したり鳴らないように設定できます。(→P78, 80)
- マナーモードを利用して着信音を消すことができます。(→P81)
- 着信音が鳴っているときに  を押しと、音を止めることができます。その後  を押しと応答できます。
- クイック応答を「ON」に設定して電話機が充電台にセットしてあるときは、充電台から持ち上げるだけで応答できます。(→P158)
- 通話中に  を押しと、通話を保留します。再度  を押しと、再開できます。ただし、保留中に  を押しとしたり充電台に戻すと(クイック終話がONのとき)、通話が切れてしまいます。
- 不在着信時の<6.各種設定>→<1.画面設定>→<6.不在着信画面>がOFFの場合は、待受け画面で「着信あり」のみ表示します。(着信番号の表示はしません。)

相手の方に待っていただくには(保留)




通話を中断して相手の方に待っていただくときは、保留にすることができます。

1 通話中に、相手の方に待っていただくように伝えます。

2  を押します。




3 通話を再開するときは、再度  を押します。



4 相手の方とお話してください。



- 保留中に  を押ししたり充電台に戻すと(クイック終話ONのとき)、通話が切れてしまいます。
- 保留は、事業所コードレスシステムモードの場合のみ有効です。

電話を取り次ぐには(保留転送)



事業所コードレスシステムモードの場合、一度受けた電話を他の電話機に転送できます。

1 通話中に、相手の方に転送することを伝えます。

2  を押します。



3 転送先の内線番号をダイヤルします。



2
基本
操作編

4 転送先の方が電話に出たら転送であることを伝えて電話を切ります。



手順1でお待たせした相手の方と、転送先の方との通話になります。



- 保留転送は、事業所コードレスシステムモードの場合にのみ有効です。
- 転送先の内線番号は、保留中に電話帳ボタンを押し、電話帳から選択することもできます。

かけ直すには



基本的な操作

本電話機は、1度かけた電話番号(発信履歴)やかかってきた電話番号(着信履歴)を30件まで記憶しています。機能キーの左右を押すと電話番号を確認したり、かけ直すことができます。

◆ かけ直す

- 1 機能キーの右を押します。
直前にかけた電話番号が表示されます。



	日時	相手番号
1	12/30 21:20	1234
2	12/30 18:15	5678
3	12/30 17:52	1111
4	12/30 13:25	9999
5	12/30 10:30	日電さん

Page▲ 詳細 Page▼
サブメニュー

2
基本
操作編

かけ直すには

2 目的の番号を選択します。

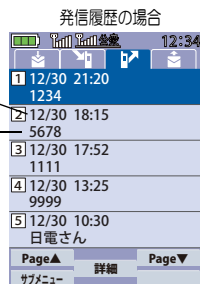
機能キーの上下を押し、かける番号を表示させます。

機能キーの左右を押すと発信履歴と着信履歴が切り替わります。



発信した順番と日時を示しています

発信した相手を示しています



着信した順番と日時を示しています

着信した相手を示しています



3 〻 ボタンを押します。

表示されている電話番号がダイヤルされます。



発信していることを示しています



相手の方が出たらお話しください。



◆ 着信 / 発信履歴を利用する

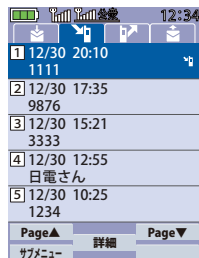
着信履歴や発信履歴は最新の電話番号を30件まで記憶し古いものから順に消えてしまいますが、手動で消すこともできます。

また、着信履歴や発信履歴の電話番号を電話帳へ登録することもできます。

1 機能キーの左を押します。

直前にかかってきた電話番号が表示されます。

機能キーの左右を押すと発信履歴と着信履歴が切り替わります。



2 目的の番号を選択します。

機能キーを押し、目的の番号を表示させます。

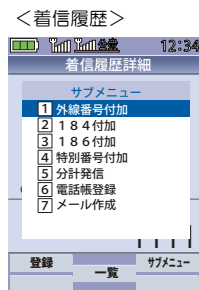
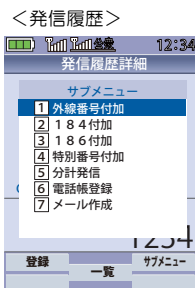
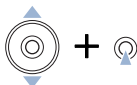


3 [サブメニュー]を押します。

外線番号付加、184付加設定、186付加設定、特別番号付加、分計発信、電話帳登録、メール作成の機能メニューが表示されます。



4 機能を選択します。

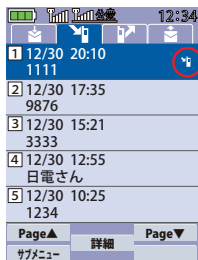


外線番号付加	<外線発信番号登録>で登録してある外線発信番号を付加します。
184付加設定 ※	「184」(発信番号非通知)を付加します。
186付加設定 ※	「186」(発信番号通知)を付加します。
特別番号付加	入力した番号を付加します。
分計発信	通話料金の請求先を通常とは別にすることができるウィルコムが提供するサービスです。(→P172)
電話帳登録	電話帳に登録します。登録した内容の変更方法は電話帳の機能を参照してください。(→P100)
メール作成	発信/着信履歴の相手にメールを作成します。(→P128)

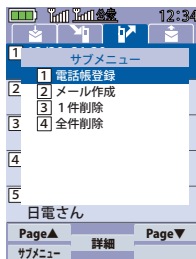
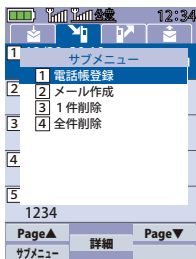
※ 公衆サービスを利用して電話をかける時のみ有効です。



- 発信履歴は、最後にかけた電話番号に再度かけた場合、履歴は追加されずに発信した日時が更新されます。着信履歴については、同じ電話番号から着信した場合にも新たな履歴として記憶されます。
- 手順1で表示された相手先に「☎」が付いているときは、かかってきた電話に出なかったことを示します。



- 電源を切っても発信履歴や着信履歴は削除されません。通話相手を他の人に知られたくない場合は手動で削除してください。
- 着信/発信履歴の一覧表示でサブメニューを選択した場合は次のサブメニュー画面になります。



受話音量を変える

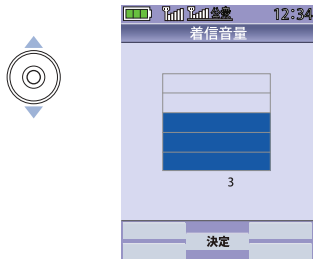
受話音量は5段階で変更できます。相手の方の声が小さいときや逆に大きすぎて聞き取りにくいときに調節してください。通話中と待受時では操作方法が異なります。

◆ 通話中に変える

- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 3 機能キーの上下を押して調整します。



- 2 [受話音量]を選択します。



- 4 決定キーを押します。



ワンポイント

●通話中においては、機能キーの上下を押す、またはPBX機能が有効になっている(→P122)場合は上下長押しすることで「受話音量」変更の画面が表示されますので、受話音量を変えることができます。変更後、決定キーを押してください。

◆ 待受時に変える

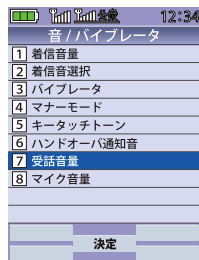
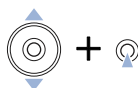
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2** <音/バイブレータ>を選択します。



- 3** <受話音量>を選択します。



- 4** 音量を調整します。
機能キーの上下を押して調整します。



- 5** 決定キーを押します。



マイク音量を変える

マイク音量は2段階で変更できます。相手の方に声が伝わりづらいときに調節してください。

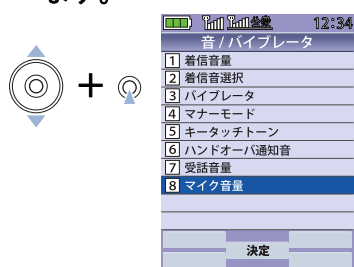
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



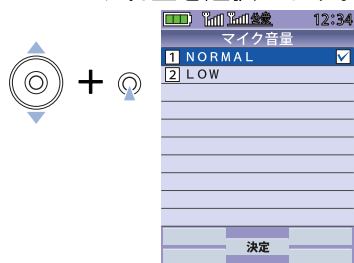
- 2** <音/バイブレータ>を選択します。



- 3** <マイク音量>を選択します。



- 4** マイク音量を選択します。



着信音を変える

着信音は、メロディの他に、音量も変更できます。

◆メロディを変える

着信音は、15種の固定パターンから選べます。
事業所コードレスシステムモードの場合はさらに内線着信、外線着信、専用線着信の着信回線をそれぞれ設定できます。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



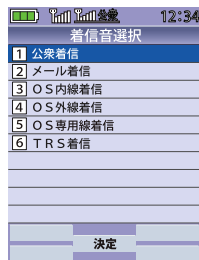
- 3** <着信音選択>を選択します。



- 2** <音/バイブレータ>を選択します。



- 4** 着信音を変更するモードを選択します。



◆ 音量を変える

着信音を大きくしたり消すことができます。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



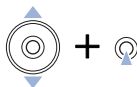
- 2** <音/バイブレータ>を選択します。



- 3** <着信音量>を選択します。




- 4** 着信音量を選択します。
5段階のボリュームと「サイレント」(無音)から、機能キーの上下を押して選択し、機能キーの中央を押して確定します。



- 5** [戻る] ボタンを押します。
待受画面に戻ります。





- 着信音量で「サイレント」を選択すると、着信音が鳴らなくなります。サイレントのときは、画面にが表示されています。
- バイブレータ着信にしたいときは、メインメニュー→<2. 音/バイブレータ>→<3. バイブレータ>で設定してください。(→P85)

マナーモードにする



マナーモードに設定すると、着信音を消したりバイブレータにしておくことができるので、会議や打ち合わせの間などに便利です。

◆ マナーモードにする

1

 ボタンを1秒以上押します。
画面に  が表示され、マナーモードに設定されます。



マナーモードを解除するときは、再度  ボタンを1秒以上押します。画面の  が消えます。

2
基本
操作編

マナーモードにする

マナーモードの着信状態は<マナーモード 選択>でバイブレータまたはサイレントのどちらかに設定できます。(→P82)

	バイブレータ	サイレント
着信音	バイブレータ	消音
キータッチトーン	消音	消音
警告音	消音	消音
アラームメッセージ音	バイブレータ	消音

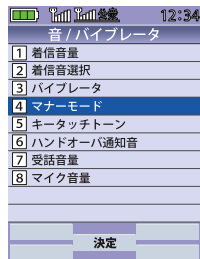
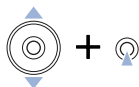
◆ マナーモードの状態を切り替える

マナーモードの着信状態をバイブレータまたはサイレントのどちらかに設定することができます。

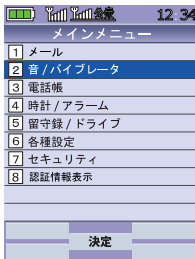
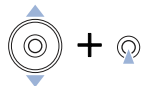
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



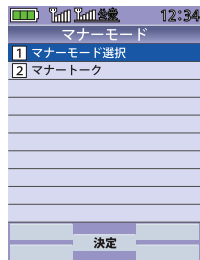
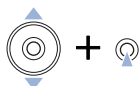
- 3** <マナーモード>を選択します。



- 2** <音/バイブレータ>を選択します。

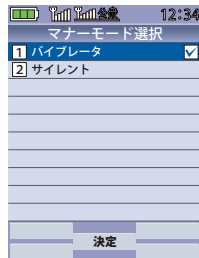
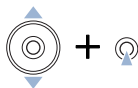


- 4** <マナーモード選択>を選択します。



5 着信状態を選択します。

マナーモード時に、設定にした状態で着信ようになります。



	バイブレータ	サイレント
着信音	バイブレータ	消音
キータッチトーン	消音	消音
警告音	消音	消音
アラームメッセージ音	バイブレータ	消音

◆ マナートーク

マナーモードで通話した時のマナートークの初期値のON/OFFを設定します。また、通話中に#キーを長押しするとON/OFFが切り替わります。マナートークを設定するとマイクの感度が上がるため、小声で話しても相手に内容を伝えることができます。

- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



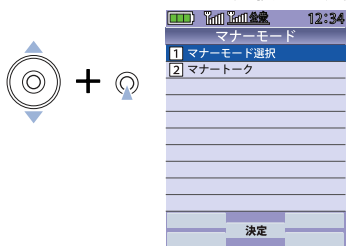
- 2 <音/パイプレータ>を選択します。



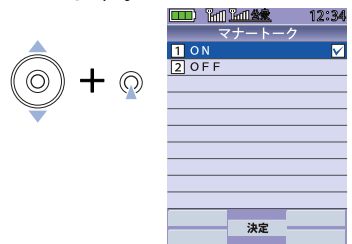
- 3 <マナーモード>を選択します。



- 4 <マナートーク>を選択します。



- 5 「ON」または「OFF」を選択します。



バイブレータ着信に設定する

着信時にバイブレータ振動させるかどうかを設定します。

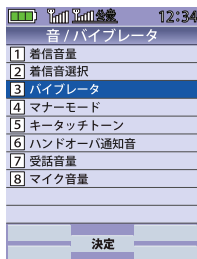
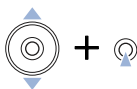
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



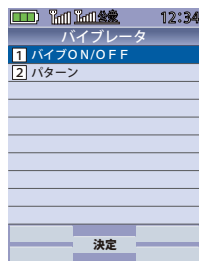
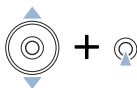
- 2** <音/バイブレータ>を選択します。



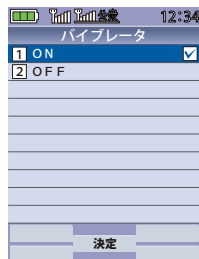
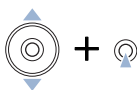
- 3** <バイブレータ>を選択します。



4 <バイブON/OFF>を選択します。

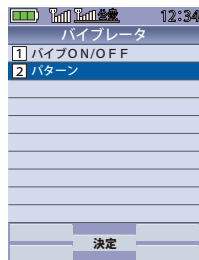


5 「ON」または「OFF」を選択します。

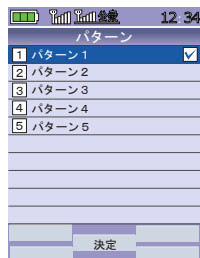
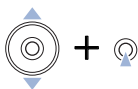


「OFF」を選択したときは、手順8へ、「ON」を選択したときは、手順6へ進みます。

6 パターンを選択します。



7 パターンを選択します。



- パターン1.....0.5秒間隔で0.5秒振動します。
- パターン2.....1秒間隔で1秒振動します。
- パターン3.....3秒間隔で3秒振動します。
- パターン4.....2秒間隔で0.5秒振動します。
- パターン5.....4秒間隔で1秒振動します。

8 ボタンを押します。 待受画面に戻ります。



- バイブレータを「ON」にすると、画面に  のマークが表示されます。



- バイブレータを「ON」にしているときは、机の上に放置しないでください。着信時の振動で落下する恐れがあります。

ハンドオーバ通知音を設定する



基本的な操作

事業所コードレスシステムモードでアンテナの切り替えがスムーズにできない場合、切り替え時に「プップップ」と鳴らすように設定します。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



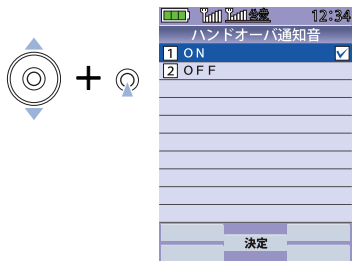
- 3** <ハンドオーバ通知音>を選択します。



- 2** <音 / バイブレータ>を選択します。



- 4** 「ON」または「OFF」を選択します。
「ON」にすると、アンテナ切り替え時に「プップップ」と鳴りません。



2
基本
操作編

ハンドオーバ通知音を設定する

文字の入力操作

電話帳など、ダイヤルボタンで文字を入力します。
入力できる文字は、漢字、ひらがな、カタカナ、数字、英語、記号です。

◆入力モードの切り替え

入力できる文字は **機** ボタンで入力モードを切り替えます。
現在の入力モードは、画面左下のアイコンで確認できます。

- [漢]: 漢字とひらがなを入力します。漢字は、機能キーで変換します。
- [カナ]: 全角/半角のカナを入力します。
- [12]: 全角/半角の数字を入力します。
- [Aa]: 全角/半角の英字を入力します。



- 1 **文字の入力画面にします。**
電話帳など、文字を入力する画面にします。

2 (保留) ボタンを押して入力モードを切り替えます。

通常の入力

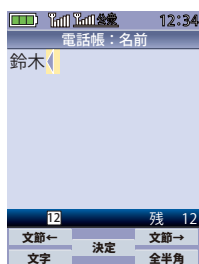
漢字ひらがな



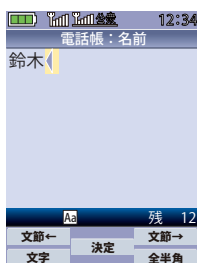
カナ



数字



英字



各モードで入力できる文字

ボタン	漢字ひらがな	全角/半角カナ		全角/半角英字		数字
		全角カナ	半角カナ	全角英字	半角英字	
	あいうえお あいうえお	アイウエオ アイウエオ	アイウエ アイウエ	.@ _ / : ~? , ' !	.@ _ / :? , !	11
	かきくけこ	カキクケコ	かきくけ かきくけ	ABCabc	ABCabc	22
	さしすせそ	サシスセソ	サシセソ	DEFdef	DEFdef	33
	たちつてとっ	タチツテトツ	たちつてと たちつてと	GHghi	GHghi	44
	なにぬねの	ナニヌネノ	なにぬね なにぬね	JKLjkl	JKLjkl	55
	はひふへほ	ハヒフヘホ	ハヒフホ	MNOmno	MNOmno	66
	まみむめも	マミムメモ	まみむめ まみむめ	PQRSpars	PQRSpars	77
	やゆよやゆよ	ヤユヨヤユヨ	やゆやゆ やゆやゆ	TUVtuv	TUVtuv	88
	らりるれる	ラリルレロ	らりるれ らりるれ	WXYZwxyz	WXYZwxyz	99
	わをんわ ゝ。ー。ゝ! ?	ワワンワ ゝ。ー。ゝ! ?	わん ゝ。ー。ゝ! ?	!" # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { } ~	!" # \$ % & ' () * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { } ~	00
	ゝ。ー。ゝ ゝ! ? 「 」	ゝ。ー。ゝ ゝ! ? 「 」	ゝ。ー。ゝ ゝ。ー。ゝ! ?	., - ! ?	., - ! ?	**
			改行			##

(*1)記号は受け取った方の機種によっては表示されません。

(*2)ひらがなと全角カナの「」は、付けることのできる文字の後ろにのみ入力できます。

入力の例)「う」 =「漢字ひらがなモード」にして を3回押します。

「B」(全角) =「英字モード」にして を2回押します。






「b」(半角) =「英字モード」にして を5回押し、 を1回押します。

「3」(全角) =「数字モード」にして を1回押します。

「3」(半角) =「数字モード」にして を1回押し、 を1回押します。

使用できるボタンとその機能

文字入力で使用するボタンです。

-  : 文字を削除します。(→P97)
-  : 入力モードを切り替えます。
-  : 全半角を切り替えます。
-  : 文節の長さを短くします。
-  : 文節の長さを長くします。

機能キー : 漢字変換中は上下左右を押すと変換候補を切り替えます。
中央を押すと変換を確定します。


◆ 漢字・ひらがな入力

ここでは「鈴木」を入力する操作を例に説明します。

2 基本操作編

文字の入力操作

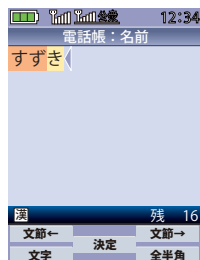
- 1 文字の入力画面にします。
電話帳など、文字を入力する画面にします。

- 2  ボタンを押して入力モードを「漢字ひらがなモード」に切り替えます。



3 「すずき」と入力します。

「す」=**[3]**を3回押して入力した後、機能キーの右を1回押して入力位置を1文字右に移動させ、「す」=**[3]**を3回、「」=**[X]**を1回、「き」=**[2]**を2回、それぞれダイヤルボタンで入力します。入力した文字に色が付きます。この文字は未確定の状態です。



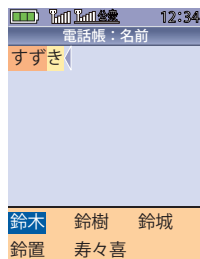
- ・ 次の文字が違うボタンの場合：
そのまま該当するボタンを押します。
- ・ 続けて同じ文字や同じボタンの文字を入力する場合：
機能キーの右を1回押して入力位置を1文字右に移動させてから入力します。
- ・ 文字を削除する場合：
[クリア]を短く押すと色がついた文字(変換範囲)の右端の文字が削除されます。
[クリア]を長く(1秒以上)押すと文字がすべて削除されます。

2 基本操作編

文字の入力操作

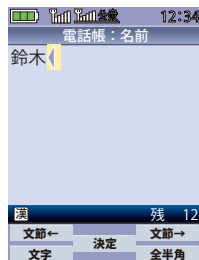
4 機能キーの上下を押して候補を表示させます。

入力文字の変換候補が表示されます。



- ・ 次の候補を表示させる場合：
機能キーの上下左右を押します。
- ・ 変換範囲(文節)が適切でない場合：
(F1)、**(F2)**を押して変換範囲の長さを変えます。

5 機能キーの中央を押します。
文字が確定します。



6 続けて次の文字を入力します。



重要

- 変換できる漢字には限りがあるため、変換できない漢字もあります。変換できるのはJIS第一水準漢字・第二水準漢字の6355文字です。
- 複雑な漢字は一部変形もしくは省略されています。



ワンポイント

- ひらがなにしたいときは、手順3で入力した後、機能キーの中央を押します。
- 手順5で機能キーの中央を押す前に次の文字を入力すると変換中の文字が表示されている候補で確定されます。

特殊な文字

各種記号やギリシャ文字などは、「漢字ひらがなモード」で「きごう」と入力して変換すると表示されます。

「きごう」で変換したときに表示される文字

、	。	・	：	；	？	！	>	//	全
々	メ	～	…	（	）	〔	〕	〔	〕
{	}	<	>	《	》	「	」	『	』
【	】	×	∞	♂	♀	℃	¥	\$	£
&	*	@	☆	★	○	●	◎	◇	◆
□	■	△	▲	▽	▼	※	→	←	↑
↓	#	♪	Ω						


◆カタカナ・英字入力

ここでは名前に「KEIKO」を入力する操作を例に説明します。

2
基本
操作編

文字の入力操作

1 文字の入力画面にします。
電話帳など、文字を入力する画面にします。

2  ボタンを押して入力モードを「英字モード」に切り替えます。



- 3 「KEIKO」と入力します。
 「K」=[5・8]を2回、「E」=[3・9]を2回、「I」=[4・10]を3回、「K」=[5・8]を2回、「O」=[6・11]を3回、それぞれダイヤルボタンで入力します。
 入力部分に直接入力されます。



- 4 続けて次の文字を入力します。



- カタカナを入力する場合は、手順2で「カナモード」に切り替えます。

◆文字の削除

クリア ボタンを押すと文字を削除できます。

1 文字の入力画面にします。
電話帳など、文字を入力する画面にします。

2 文字の入力画面になります。
削除する文字にカーソルを移動します。



3 **クリア** を押します。
クリア を短く押すと、カーソル上の文字が1文字削除されます。
※ カーソル上に文字がない場合は、カーソルの左側の1文字が削除されます。



クリア を長く(1秒以上)押すと、すべての文字が削除されます。



◆文字の挿入

機能キーでカーソルを移動して入力すると文字を挿入できます。

1

文字の入力画面にします。

電話帳など、文字を入力する画面にします。

2

文字の入力画面になります。

文字を挿入する場所へカーソルを移動します。

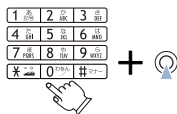


2
基本
操作編

文字の
入力操作

3

文字を入力します。



スペースを入力するときは[]を4回押します。(数字入力モードのときは「*」が入力されるので他の入力モードで入力してください。)

3

電話帳を使う

電話帳を登録する.....	100
新規登録する.....	100
電話帳を利用して電話を かける.....	105
名前（フリガナ）で検索する.....	105
グループで検索する.....	106
電話帳を修正する.....	108
名前を変更する.....	108
電話番号を追加する.....	109
電話番号を変更する.....	110
電話帳を削除する.....	111
電話帳を全削除する.....	112
電話帳をロックする.....	113
電話帳を転送する.....	115

電話帳を登録する



電話帳では最大1000件分の電話番号を電話機に登録できます。
よく利用する電話番号は、前もって電話帳に登録しておくくと便利です。

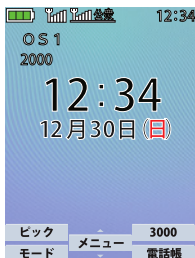
◆新規登録する

1件につき3つの電話番号が登録できます。
登録は次の3段階のステップで行います。

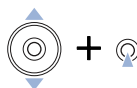
- ステップ1 電話帳を開きます。
- ステップ2 名前を入力します。
- ステップ3 電話番号を入力します。…3つの番号まで登録可能。

電話帳を開く

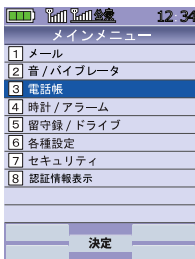
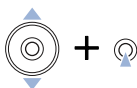
1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



3 <新規登録>を選択します。



2 <電話帳>を選択します。



名前の入力

4 <名前>を選択します。



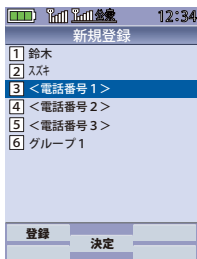
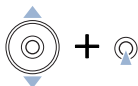
6 フリガナを選択します。

5 名前を入力します。
全角・半角を混在でき、全角で8文字まで入力できます。7 フリガナを入力します。
16文字まで入力できます。
あらかじめ手順5で入力した名前のフリガナが入力されているので、必要に応じて変更してください。3
基本
操作編

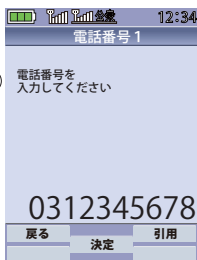
電話帳を登録する

電話番号の入力

8 電話番号1を選択します。

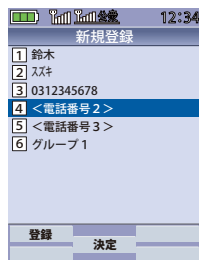


9 電話番号を入力します。 24桁まで入力できます。



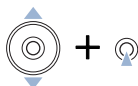
10 電話番号2以降を入力します。

電話番号1(手順8~9)同様、電話番号を入力します。番号3まで入力すると次の項目に進みます。電話番号を追加しないときは、機能キーの下を押すと次に進みません。



グループの入力

11 グループを選択します。



新規登録	
1	鈴木
2	スズキ
3	0312345678
4	<電話番号 2 >
5	<電話番号 3 >
6	グループ 1

登録 決定

13 [登録]を選択します。

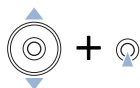


新規登録	
1	鈴木
2	スズキ
3	0312345678
4	<電話番号 2 >
5	<電話番号 3 >
6	グループ 1

登録 決定

電話帳
登録しています


12 所属するグループを選択します。



グループ設定	
1	グループ 1
2	グループ 2
3	グループ 3
4	グループ 4
5	グループ 5
6	グループ 6
7	グループ 7
8	グループ 8
9	グループ 9

決定



- 電話帳に登録中に着信があると、編集中の内容がキャンセルされます。
- 電池パックを交換するときや電池残量がなくなったときでも、電話帳は削除されません。ただし、何らかの操作中に電池残量がなくなった場合などは、電話帳データが更新されない場合があります。なお、その場合でも、すでに登録されている電話帳データはそのまま保持されます。
- 電話番号にポーズを入れるときは、を長押しすると「P」が入力されます。
- 登録件数は、メインメニュー→<3.電話帳>→<5.登録件数表示>で確認できます。



- 名前、フリガナ、電話番号を入力しないと電話帳には登録できません。
- お買い上げ後、はじめてお使いになるときや、約1週間以上電池パックをはずした状態および空の状態のときは、本電話機に電池パックを取り付けて充電してから電話帳の登録を行ってください。充電しないままお使い頂きますと、電話帳データが損なわれる可能性があります。
- 電話帳(→ P100)に登録した内容は、別にメモを取り保管してくださるようお願いいたします。
電話帳の登録内容は電池パックをはずした状態および空の状態でも約1週間はもちますが、それ以上経過すると内容が消失してしまう可能性があります。また、本電話機の故障・修理・電話機の変更やその他取り扱いによって、登録内容が消失してしまう場合もあります。

万一、電話帳などに登録してある内容が消失してしまうことがあっても当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

電話帳を利用して電話をかける



電話帳を使う

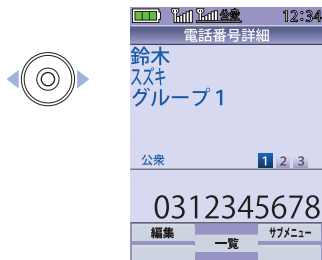
電話帳は、名前検索、グループ検索ができます。

◆ 名前(フリガナ)で検索する

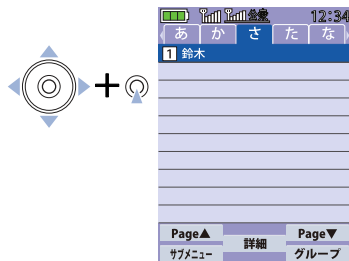
- 1 名前検索画面にします。
電話帳ボタンを押します。




- 3 発信番号を選択します。
選択した相手に2~3番目の電話番号を登録してある場合は、機能キーの左右を押して選択します。



- 2 名前を選択します。



- 4  ボタンを押します。
選択した番号がダイヤルされます。



3 基本
操作編

電話帳を利用して電話をかける



フоновイソト

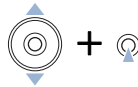
●<サブメニュー>→<1.フリガナ検索>から表示される画面で検索したい名前のフリガナを入力して、決定キーを押下すると、入力したフリガナと一致する名前へカーソルが移動します(前方一致検索)。

◆グループで検索する

- 1** 一覧表示画面にします。
電話帳ボタンを押します。



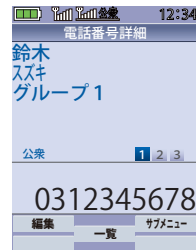
- 4** 名前を選択します。
機能キーの上下を押して選択します。



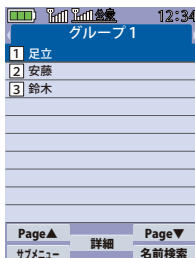
- 2** [グループ]を押します。
電話帳ボタンを押します。



- 5** 発信番号を選択します。
選択した電話帳の2~3番目の電話番号にかけたい場合は、機能キーの左右を押して選択します。



- 3** 機能キーの左右でグループごとの表示をします。



- 6** ボタンを押します。
選択した番号がダイヤルされます。





- 電話帳は、グループ名を設定することができます。詳細は、「グループの入力(→P103)」を参照してください。

電話帳を修正する



電話帳は、登録した名前の変更と番号の追加ができます。また、すでに登録されている電話番号を修正したり、1件ずつ削除することや電話帳をすべて削除することもできます。

◆名前を変更する

- 1** 変更する名前を選択します。

P105-106の手順で選択できます。



- 3** 名前やフリガナを変更します。

操作は新規登録の手順5~7と同じです。(→P101)



- 2** [編集]を選択します。



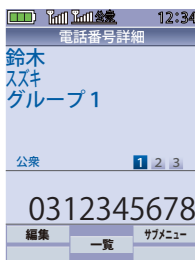
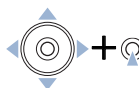
- 4** [登録]を選択します。



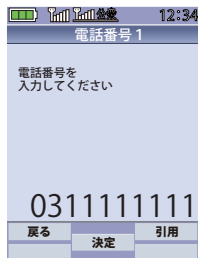
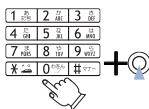


◆ 電話番号を追加する

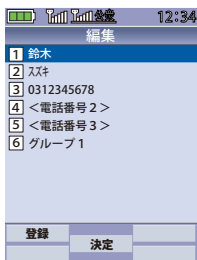
- 1** 番号を追加する名前を選択します。
P105-106の手順で選択できます。



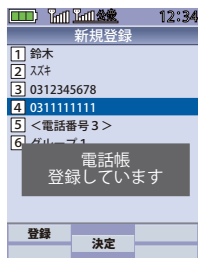
- 4** 電話番号を登録します。
登録操作は新規登録の手順8~10と同じです。(→P102)



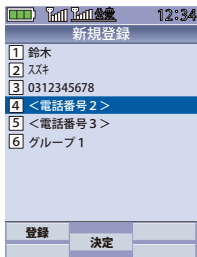
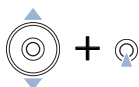
- 2** [編集]を選択します。



- 5** 「登録」を選択します。



- 3** 空いている電話番号を選択します。



◆ 電話番号を変更する

- 1** 変更する番号を選択します。
P105-106の手順で選択できます。



- 2** [編集]を選択します。



- 3** 変更する電話番号を選択します。



- 4** 電話番号を変更します。
以前の番号はクリアボタンを長く
(1秒以上)押しと消去できます。
入力操作は新規登録の手順8~
10と同じです。(→P102)



- 5** [登録]を選択します。

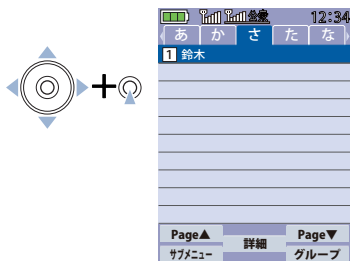


◆ 電話帳を削除する

登録した電話帳を1件ごと削除できます。

1 削除する電話帳を選択します。

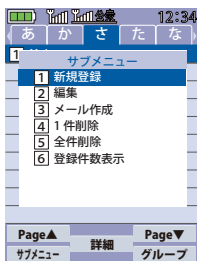
P105-106の手順で選択できます。



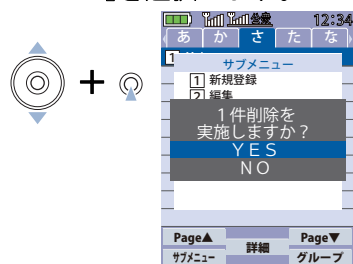
3 [1件削除]を選択します。



2 [サブメニュー]を選択します。



4 「YES」を選択します。





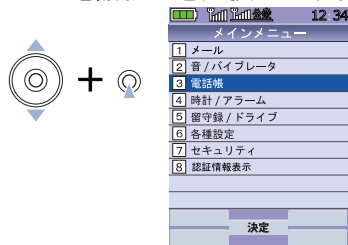
◆ 電話帳を全削除する

この操作を行うと、電話帳の全データが削除されますので、十分確認してから行ってください。

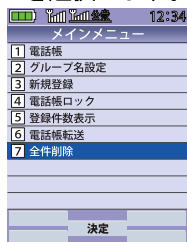
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2** <電話帳>を選択します。



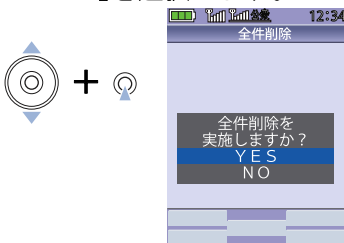
- 3** <全件削除>を選択します。



- 4** 暗証番号を入力します。



- 5** 「YES」を選択します。



- 暗証番号は、ご購入時には「0000」になっています。いたずら防止のため、<暗証番号変更>でお好きな番号へ変更してください。(→P126)

◆ 電話帳をロックする

電話帳は他の人に見られないよう、ロックをかけることができます。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



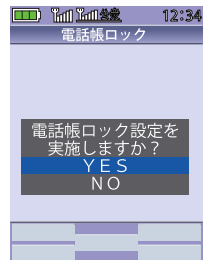
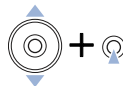
- 4** 暗証番号を入力します。



- 2** <電話帳>を選択します。



- 5** 「YES」を選択します。



- 3** <電話帳ロック>を選択します。





ワンポイント

- 電話帳をロックした状態で電話帳の操作をしようとすると「電話帳ロック中です」と表示され、電話帳を参照したり(→P105-106)登録・修正(→P100, 108)ができなくなります。
- 電話帳のロックを解除するときは、同じ手順で操作をし、手順の5で「電話帳ロック解除を実施しますか?」という画面が表示されるので、「YES」を選択します。



◆電話帳を転送する

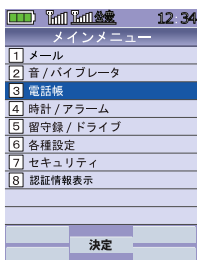
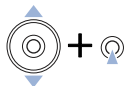
一方の電話機の電話帳データを別の電話機へ転送することができます。双方の電話機を1m以内の距離におき、受信側から先に操作します。受信側の準備ができたなら、1分以内に送信側の操作をしてください。

受信側の操作

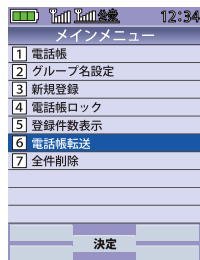
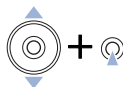
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



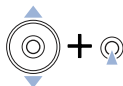
- 2** <電話帳>を選択します。



- 3** <電話帳転送>を選択します。



- 4** 「受信」を選択します。

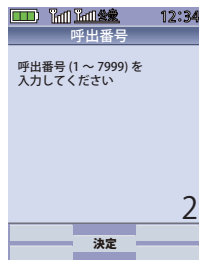
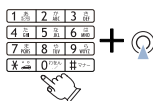


3
基本
操作編

電話帳を修正する

5 呼出番号を入力します。

1～7999の任意の数字を入れます。



受信準備が整い、「受信中」と表示されます。
正常に送受信が終了すると「受信完了」と表示されます。「受信失敗」と表示された場合は最初からやり直してください。



重要

- 電話帳転送は受信側の電話帳データをすべて消去してから操作することをおすすめします。
- 登録可能件数や項目、1件あたりの登録可能番号のちがいがなど、相手の機種によっては本電話機と電話帳データをうまくやりとりできない場合があります。登録可能件数等の少ない機種にあわせて転送してください。



ワンポイント

- 転送時間の目安は、以下となります。
本電話機から本電話機への転送 約2分から3分
YN20-5000NVから本電話機への転送 約2分から3分
本電話機からYN20-5000NVへの転送 約10分

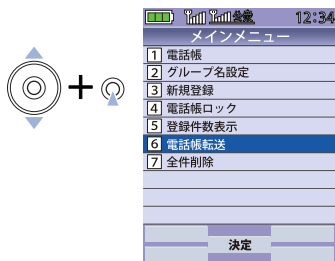
送信側の操作

受信側の準備の後、1分以内に操作を終えてください。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



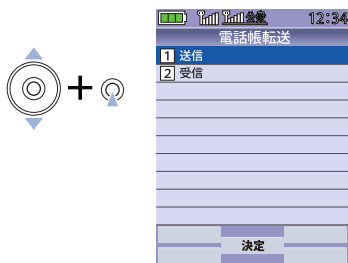
- 3** <電話帳転送>を選択します。



- 2** <電話帳>を選択します。



- 4** 「送信」を選択します。



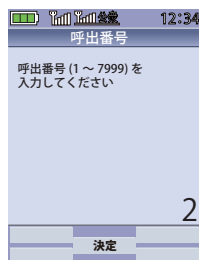
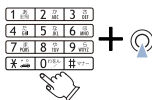
3
基本
操作編

電話帳を修正する

5 電話機の暗証番号を入力します。



6 受信側と同じ呼出番号を入力します。



「送信中」と表示され送信が始まります。正常に送受信が終了すると「送信完了」と表示されます。「送信失敗」と表示された場合は最初からやり直してください。



重要

- 呼出番号は、送信側、受信側とも同じ番号を設定してください。
- 電話帳ロック時は転送できません。
- 一部の記号(♯、☎、☎、☎)がスペースに変わります。
- フリガナがない電話帳データは、転送後削除されます



フоновイント

- 転送中に(☎)を押すと転送を中断できます。そのとき、送信側には「中止しました」と表示され、受信側には「受信失敗」と表示されます。

4

PBXの機能を利用する

PBX機能でできること	120
ソフトキーとは	120
PBX機能を設定する (ソフトキー)	122
有効になっている機能を確認する ..	122
PBX間のローミング機能を利用する	124

PBX機能でできること



PBX機能を利用する

本電話機を事業所コードレスシステムで使用する場合、PBX(構内交換機)の元で発信や着信などのサービスを受けることになります。PBXには、ローミング機能やVoiceMail(通話録音装置)連動、転送/キャンプオンなどに対応しているものもあり、対応しているPBX機能については、本電話機でも利用することができます。

◆ソフトキーとは

画面の下部に表示される機能メニューで、VoiceMail(通話録音装置の音声メール)や転送機能などのPBX機能やメインメニュー表示など、本電話機で利用できる機能を選択できます。

ソフトキーの使用方法



機能キーの上下ボタンを押すと、画面に表示されているソフトキーの機能が切り替わります。

利用したい機能をソフトキーに表示させ、F1キー、F2キー、機能キーの中央で決定します。3つの選択ボタンはそれぞれ、画面に表示されているソフトキーの位置(左上、中央、右上)に対応しています。

4活用編

PBX機能でできること

ソフトキーに表示されるサービスは、ソフトキーモードにより異なります。ソフトキーは、以下のモードで使用している場合に表示されます。

- OS1
- OS2
- OS3
- OS自動
- 公衆優先
- OS優先



フボイント

- ソフトキーに表示される各機能の表示位置(左上 / 中央 / 右上)は、ソフトキーモードの設定によって異なります。したがって、本章での設定手順の画面は、実際の表示と異なる場合があります。
- F1キー、F2キーに、よく使うソフトキーの機能を割り当てることができます。

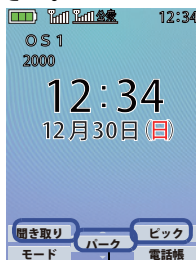
PBX機能を設定する(ソフトキー)



「VoiceMail連動」、「転送/キャンプオン」、「割り込み」、「グループング」、「ホテル機能」を利用するには、ソフトキーモードの設定が必要です。また、PBX側での設定が必要なため、設定方法については工事・保守者にお問い合わせください。

◆有効になっている機能を確認する

PBX機能は、電話機の画面に表示されているソフトキーで操作します。ソフトキーに表示されている機能を、機能キーの上下ボタンで確認してください。



ソフトキー

表示キー	機能
聞き取り	VoiceMail(通話録音装置の音声メッセージ)を聞く
通話録音	通話録音をする
録音転送	すべての着信を通話録音装置へ転送する
不在転送	すべての着信を転送する
話中転送	通話中の着信を転送する
圏外転送	圏外または電源OFF時の着信を転送する
不応答転	一定時間不応答の着信を転送する
転先不在	離席時に移動先の電話機から転送設定ができる
キャンプ	呼び出し先が通話中のとき通話が終わり次第呼び出しがある
会議	通話中に他者を呼び出し三者通話を行う
着信拒否	着信を規制する
割込拒否	割込通話を規制する
割り込み	通話中の内線に接続する
ウェイト	相手通話中に割り込み音を送る
ピック	グループ内の他の番号への着信に応答する
シェア	本電話機と多機能電話機が1つの電話番号を使用する
パーク	保留した通話に別の電話機から応答する
客室状態	客室状態を設定する
発信制限	発信を制限する
着信制限	着信を制限する

※「通話録音」「ウェイト」「会議」「割り込み」「割込拒否」は、発信および着信後に表示される機能です。



各機能で表示されるソフトキー

機能項目名	表示されるソフトキー
VoiceMail連動	[聞き取り][通話録音][録音転送]
転送/キャンブオン	[不在転送][話中転送][圏外転送][不応答転][転先不在] [キャンブ][会議]
割り込み	[着信拒否][割込拒否][割り込み][ウェイト]
グルーピング	[ピック][シェア][パーク]
ホテル機能	[客室状態][発信制限][着信制限]



ワンポイント

- PBXが対応していない機能は利用できません。PBXが対応しているか確認してから機能を設定してください。
- 各機能の操作、設定方法については、PBX側のマニュアルを参照してください。
- コールピックアップ(ピック)をした場合には、着信番号は表示されません。
- 「VoiceMail連動」とは通話録音装置の音声メール機能を利用することです。

PBX間のローミング機能を利用する

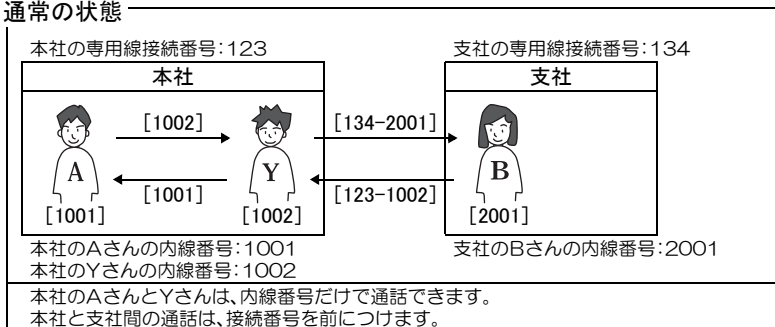


本電話機は通常、1つのPBX(構内交換機)の元で使用するため、他の会社や事業所では使用できません。しかし、PBX間ローミング機能を利用すれば、他の会社や事業所に出かけた場合でも、そこに設置されたPBXの内線電話機として使用することができます。この場合、それぞれのPBXがローミング機能に対応している必要があります。

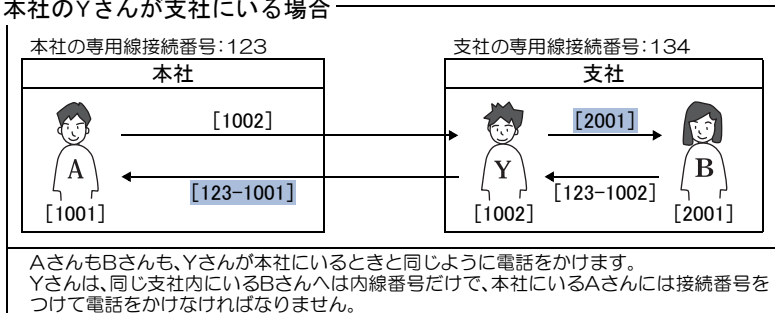
ローミング機能を利用すると、次のような便利な使いかたができます。

例) 本社と支社でPBX間ローミングをしている場合の使用例

通常の状態



本社のYさんが支社にいる場合



※ PBXによっては、本機能は使えません。お買い求めになった販売店へお問い合わせください。



● ローミング中は、待受画面にRMと表示されます。



5

より便利に使う

暗証番号を利用する.....	126	セキュリティ.....	160
暗証番号を利用する場面.....	126	パスワードロック.....	160
暗証番号を設定・変更する.....	126	設定をリセットする.....	162
メール機能.....	128	ボタン操作の機能.....	163
メールの作成.....	128	キーロック.....	163
受信メールの確認.....	131	発信番号付加機能.....	165
送信メールの確認.....	133	トランシーバとして使う.....	166
送達確認音の設定.....	135	トランシーバモードでできること.....	166
着信メール表示.....	136	トランシーバ登録する.....	167
返信時引用の設定.....	137	公衆機能を使う.....	170
音/パイプレータ機能.....	138	発信者番号を通知する (通知しない).....	170
キータッチトーン.....	138	料金分計サービス.....	172
時計機能.....	139	留守番電話サービス.....	173
アラームを設定する.....	139	着信拒否設定.....	174
留守録機能.....	142	指定着信拒否.....	178
留守録/ドライブをONにする.....	142	ドライブモード(安全運転モード).....	181
留守録を消去する.....	146	リモートロック.....	183
各種設定.....	147		
画面の明るさを設定する.....	147		
ディスプレイの点灯時間を 設定する.....	149		
キーバックライト.....	150		
内線番号表示.....	151		
Fキー機能.....	152		
ツータッチダイヤル.....	156		
エニーキーアンサ.....	157		
クイック機能.....	158		

暗証番号を利用する

より便利に使う

本電話機の機能には、暗証番号が必要なものがあります。

◆暗証番号を利用する場面

以下の機能を利用するときは、暗証番号が必要です。

暗証番号の設定・変更(→P126)	電話帳全削除(→P112)
電話帳ロック(→P113)	パスワードロック(→P160)
完全消去+初期化(→P162)	リモートロック(→P183)
電話帳の転送(送信側)(→P117)	発信履歴、着信履歴の全件削除(→P74)
メールの全件削除(→P132)	

暗証番号は、ご購入時には「0000」になっています。いたずら防止のため、**<暗証番号変更>**でお好きな番号へ変更してください。



重要

- いたずら防止のため、暗証番号は定期的に変更していただくことをお勧めします。なお、設定した暗証番号は、メモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけてください。
- 暗証番号をお忘れになると、電話をかけることができなくなる事もあります。その場合、故障修理扱い(有料)となります。

暗証番号を利用する

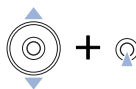
◆暗証番号を設定・変更する

変更する場合は以前の暗証番号も必要です。ご購入時には「0000」になっています。

1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。

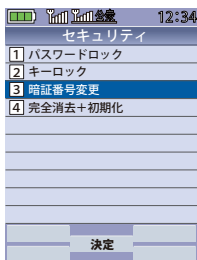


2 <セキュリティ>を選択します。

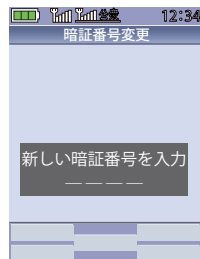


5
活用
編

3 <暗証番号変更>を選択します。



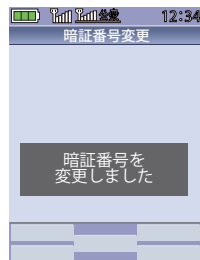
5 新しい暗証番号を入力します。 新しい暗証番号は、2回入力します。



4 現在の暗証番号を入力します。



6 暗証番号が変更されます。



重要

- 設定した暗証番号は、メモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。

メール機能

より便利に使う

本電話機では、メール機能が使用できます。
メインメニューの<メール>機能では、以下の項目が設定できます。

メールを作成する(→P128)	送達確認音の設定(→P135)
受信メールの確認(→P131)	着信メール表示(→P136)
送信メールの確認(→P133)	返信時引用の設定(→P137)

◆メールの作成

ここでは、メールの作成、送信する操作について説明します。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



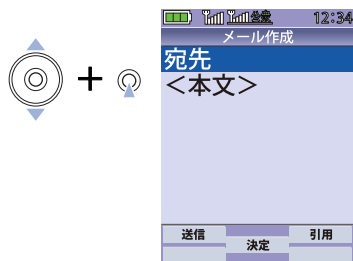
- 3** 「メール作成」を選択します。



- 2** 「メール」を選択します。



- 4** 「宛先」を選択します。

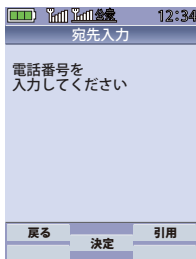


メール機能

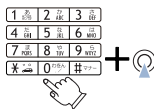
5
活用編

5 宛先の電話番号を入力します。

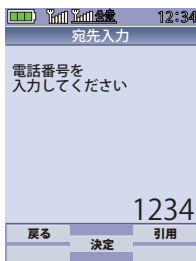
引用キー(F2 キー)を押すことで、電話帳または発信履歴、着信履歴から送信先を入力できます。



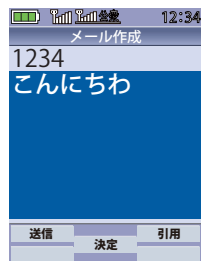
8 本文を入力し、[決定]を押します。



6 [決定]を押します。



9 [送信]を押し、送信します。



7 <本文>を選択します。





重要

- 通話中は、メールの送信ができません。
- 相手の電話機の状態が、留守番電話サービス中、電源が入っていない、通話圏外、通話中の時は、メールを送信しても相手に受信されません。
- 相手の電話機がシンプルメール、ライトメール非対応の場合は、メールを送信しても通常の着信動作を行います。
- 絵文字、アニメーションには対応していません。



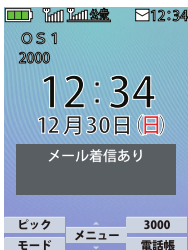
フオネイント

- 文字を挿入するときは、左右の機能キーを使用してカーソルを移動します。文字の入力方法は、「文字の入力操作」を参照してください。(→P89)

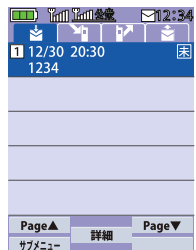
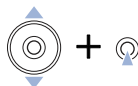
◆ 受信メールの確認

ここでは、受信メールの確認方法について説明します。

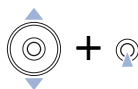
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



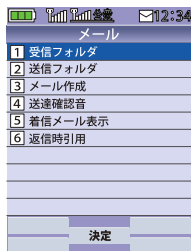
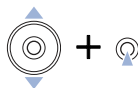
- 4** 確認したいメールを選択します。



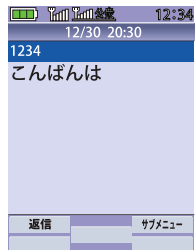
- 2** 「メール」を選択します。



- 3** 「受信フォルダ」を選択します。



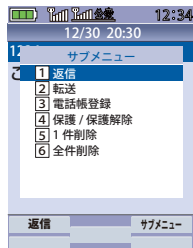
- 5** メールの内容が表示されます。





フingerprint

- メール到着を知らせる着信LEDは受信フォルダを開くと消えます。
- 待受画面から、機能キーを左に2回押す操作でも、受信メールのフォルダに移動できます。
- 一覧の右側の「未」は未読を、「保」は保護を表します。
- メールアイコンは、すべてのメールが既読になると消えます。
- 受信メールは100件保存します。100件を超えると古いメールから自動的に削除されます。
- 受信メールに対して、サブメニューから以下の対応が選択できます。
 - 返信
 - 転送
 - 電話帳登録
 - 保護/保護解除
 - 1件削除
 - 全件削除



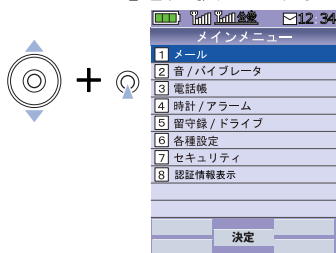
◆送信メールの確認

ここでは、送信メールの確認方法について説明します。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



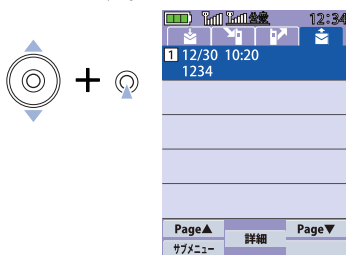
- 2** 「メール」を選択します。



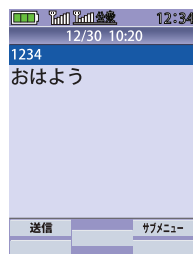
- 3** 「送信フォルダ」を選択します。



- 4** 確認したいメールを選択します。



- 5** メールの内容が表示されます。





- 待受画面から、機能キーを右に2回押す操作でも送信フォルダに移動できます。
- 送信メールは100件保存されます。100件を超えると古いメールから自動的に削除されます。
- 一覧の右側の「未」は未送信を表します。

◆ 送達確認音の設定

送達確認音のON/OFFを設定します。

- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2 「メール」を選択します。



- 3 「送達確認音」を選択します。



- 4 「ON」または「OFF」を選択します。



◆ 着信メール表示

着信メール表示のON/OFFを設定します。

- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2 「メール」を選択します。



- 3 「着信メール表示」を選択します。



- 4 「ON」または「OFF」を選択します。



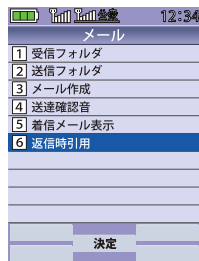
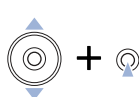
◆返信時引用の設定

メールの返信時に相手のメール内容を引用する場合、設定します。

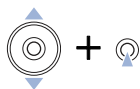
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



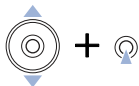
- 3** 「返信時引用」を選択します。



- 2** 「メール」を選択します。



- 4** 「ON」または「OFF」を選択します。



音/バイブレータ機能

より便利に使う

メインメニューの<音/バイブレータ>機能では、以下の項目が設定できます。

着信音量の選択(→P80)	キータッチトーンのON/OFF(→P138)
着信音の選択(→P78)	ハンドオーバー通知音の設定(→P88)
バイブレータ着信の設定(→P85)	受話音量の変更(→P75)
マナーモードの選択(→P82)	マイク音量の設定(→P77)
マナートークの設定(→P84)	

◆ キータッチトーン

ボタン操作の確認音を出す/出さないを設定します。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 3** <キータッチトーン>を選択します。



- 2** <音/バイブレータ>を選択します。



- 4** 「ON」または「OFF」を選択します。



音/バイブレータ機能

5
活用編

時計機能

メインメニューの<時計>機能では、以下の項目が設定できます。

- | |
|------------------|
| 日付時刻設定(→P46) |
| アラームを設定する(→P139) |

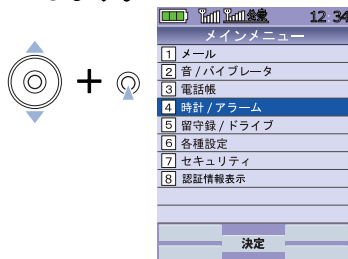
◆アラームを設定する

決まった時刻にアラームを鳴らす機能です。アラームは、10個登録することができます。

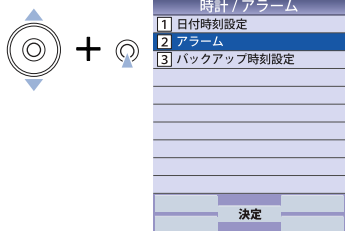
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2** <時計/アラーム>を選択します。



- 3** <アラーム>を選択します。



- 4** <アラーム1>を選択します。
アラームの設定が完了している場合は、F2 キーを押すことで、ON/OFFを切り替えることができます。

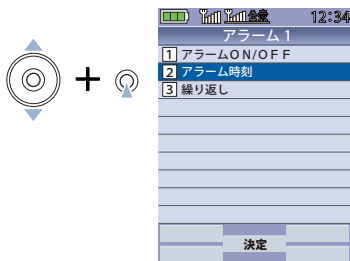


より便利に使う

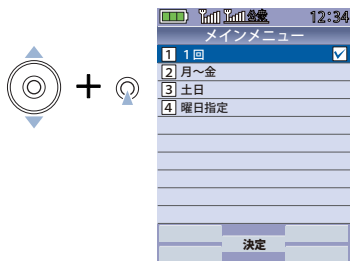
時計機能

5
活用編

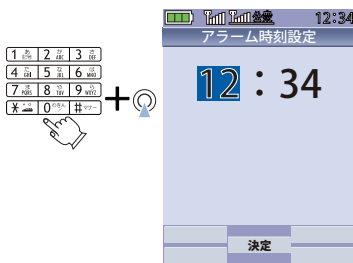
5 <アラーム時刻>を選択します。



8 アラームを何回鳴らすかを設定します。

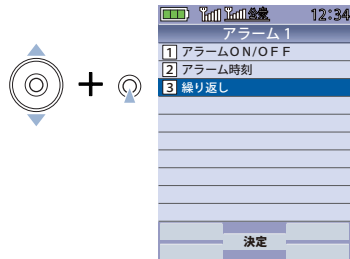


6 アラーム時刻を設定します。

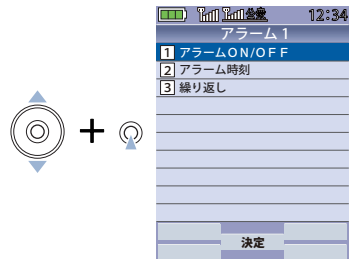


1回	1回のみアラームを鳴らします。
月～金	月曜日～金曜日にアラームを鳴らします。
土日	土曜日、日曜日にアラームを鳴らします。
曜日指定	好きな曜日を指定してアラームを鳴らします。

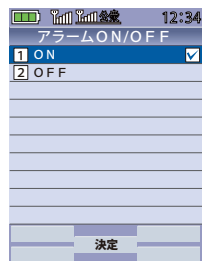
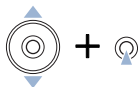
7 <繰り返し>を選択します。



9 <アラームON/OFF>を選択します。



10 アラームをONに設定します。



留守録機能



より便利に使う

メインメニューの<留守録/ドライブ>機能では、以下の項目が設定できます。

再生(→P145)	留守録/ドライブ(→P142)
消去(→P146)	

◆留守録/ドライブをONにする

留守録/ドライブは、電話に出られないときにお客様に変わって応答し、録音しておく機能です。

1件15秒以内、3件まで録音できます。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 3** <留守録/ドライブ>を選択します。



- 2** <留守録/ドライブ>を選択します。



- 4** <ドライブモード>を選択します。

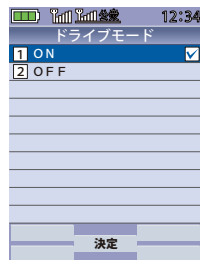
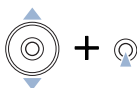



留守録機能

5
活用編





5 「ON」を選択します。

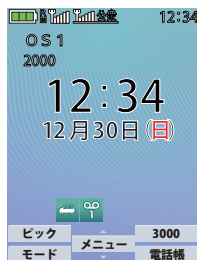
留守録/ドライブを利用しないときは「OFF」を選択します。



「留守録/ドライブ」を「ON」にすると画面に  が表示されます。

～電話がかかってくると～

- ・「留守録/ドライブ」を「ON」にした状態で電話がかかってくると、自動的に応答します。
- ・相手には「ただいま電話に出ることができません。発信音のあとにお名前とご用件をお話してください。」という応答メッセージが流れます。
- ・応答メッセージ再生中や留守録録音中でも  を押すと電話に出られます。録音中に応答した場合は、応答するまでに録音した音声は保存されます。
- ・すでに留守録が3件録音されている場合は、「ただいま電話に出ることができません。のちほどおかけ直してください。」という応答メッセージが流れます。
- ・留守録が録音されると  が表示されます。1件録音されると 、2件録音されると  になります。



フingerprint

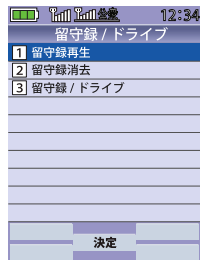
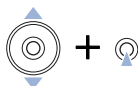
- 留守録/ドライブは、 ボタンを長押しすることでもONにすることができます。

～留守録を再生するには～

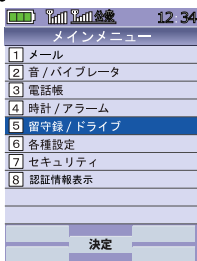
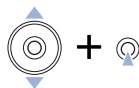
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



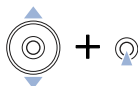
- 3** <留守録再生>を選択します。



- 2** <留守録 / ドライブ>を選択します。



- 4** 再生する録音を選択します。



- 再生は を押すと止まります。



ワンポイント

- 録音できる留守録は3件です。不要な留守録は消去してください。(→P146)

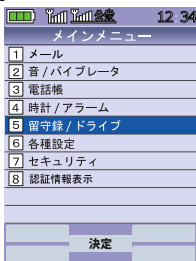
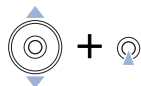


◆ 留守録を消去する

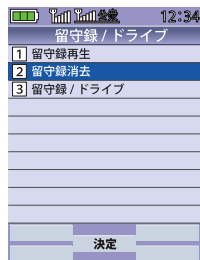
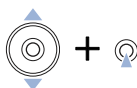
1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



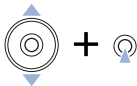
2 <留守録/ドライブ>を選択します。



3 <留守録消去>を選択します。



4 消去する録音を選択します。



5 「消去」を選択します。



各種設定

メインメニューの<各種設定>の機能では、以下の項目が設定できます。

画面の明るさ設定(→P147)	外線発信番号登録(→P58)
ディスプレイの点灯時間設定(→P149)	エニーキーアンサのON/OFF(→P157)
キーバックライトの設定(→P150)	クイック機能(→P158)
内線番号表示の設定(→P151)	公衆機能(→P170)
Fキー機能(→P152)	モードネーム設定(→P54)
ツータッチダイヤル(→P156)	トランシーバ登録(→P167)

より便利に使う

各種設定

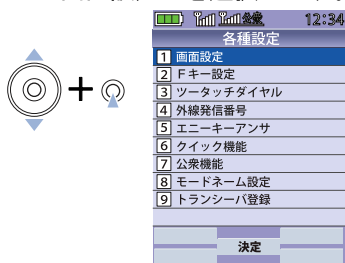
5
活用編

◆画面の明るさを設定する

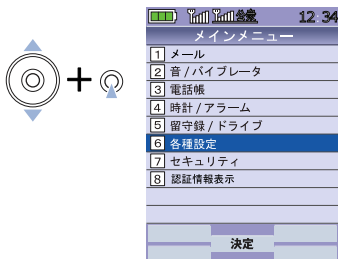
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



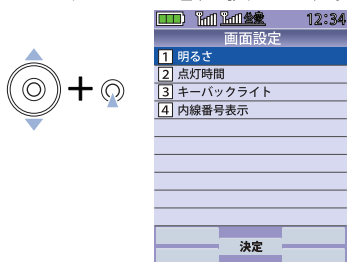
- 3** <画面設定>を選択します。



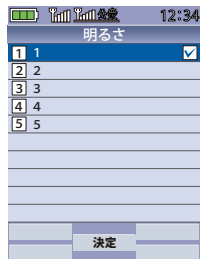
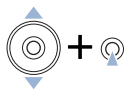
- 2** <各種設定>を選択します。



- 4** <明るさ>を選択します。



5 <明るさ>を選択します。



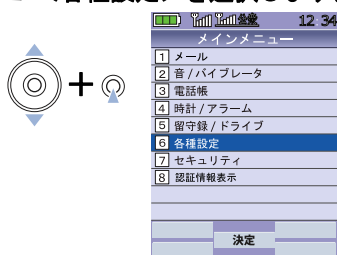
調整後は決定を押すことで前の画面に戻ります。

◆ディスプレイの点灯時間を設定する

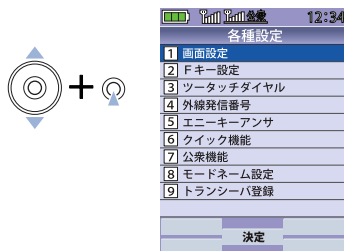
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



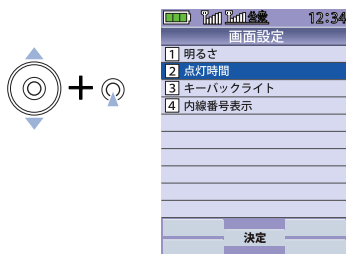
- 2** <各種設定>を選択します。



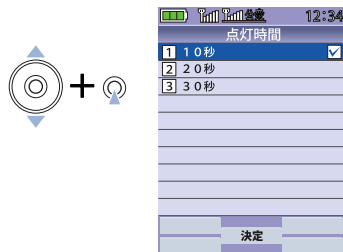
- 3** <画面設定>を選択します。



- 4** <点灯時間>を選択します。



- 5** ディスプレイの点灯時間を
選択します。

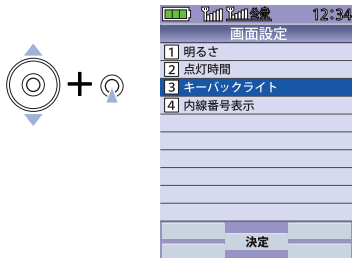


◆キーバックライト

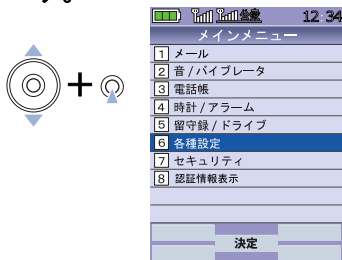
- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 4 <キーバックライト>を選択します。



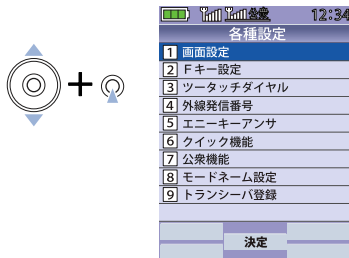
- 2 <各種設定>を選択します。



- 5 「ON」または「OFF」を選択します。



- 3 <画面設定>を選択します。

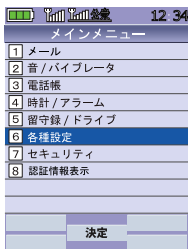
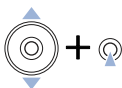


◆内線番号表示

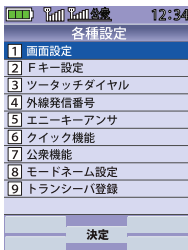
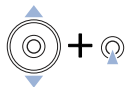
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



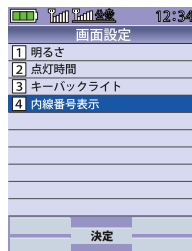
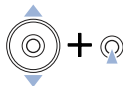
- 2** <各種設定>を選択します。



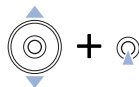
- 3** <画面設定>を選択します。



- 4** <内線番号表示>を選択します。



- 5** 「ON」または「OFF」を選択します。



- 6** ディスプレイに内線番号が表示されます。



◆Fキー機能

本電話機は、2つのフレキシブルキー（Fキー）を備えています。Fキーを押すと、あらかじめ設定した発信先にワンタッチで発信することができます。

また、Fキーに番号を設定することができます。

F1とF2それぞれに、1つずつ事業所コードレスシステムの特番やよく電話する相手番号を設定することができます。


Fキーを使って発信する

- 1 発信したい番号が登録されているFキーを押します。
Fキーに登録されている番号に発信されます。



- 2 相手の方が出たらお話しください。



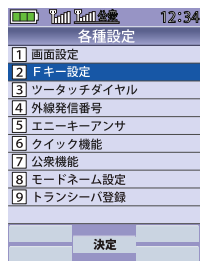
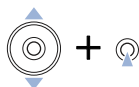
● 発信中に  を押すと発信を中断できます。

Fキーに番号を新規設定する

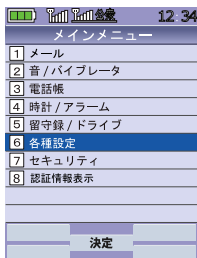
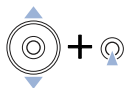
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



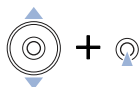
- 3** <Fキー設定>を選択します。



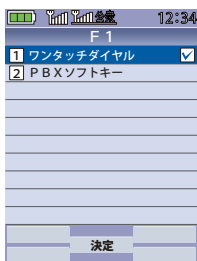
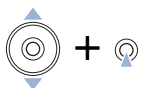
- 2** <各種設定>を選択します。



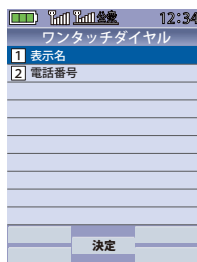
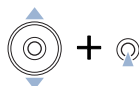
- 4** 設定したいキーを選択します。



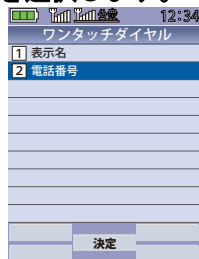
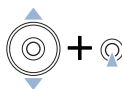
5 <ワンタッチダイヤル>を選択します。



6 表示名を選択します。

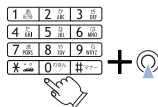


8 電話番号を選択します。

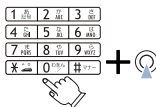


9 Fキーに設定する電話番号を入力します。

Fキーに電話番号が設定されます。設定後、Fキーを押すことにより設定した電話番号に発信することができます。



7 表示名を入力します。
ソフトキーに表示させる名称を入力します。






ワンポイント

- デュアルモードの場合、優先しているモード以外に発信することができません。モードを切り替えてから使用してください。
- Fキーには、PBX機能を割り当てることもできます。メインメニュー→<6.各種設定>→<2.Fキー設定>→<1.F1>/<2.F2>→<2.PBXソフトキー>を選択し、割り当てたいPBX機能を選択します。

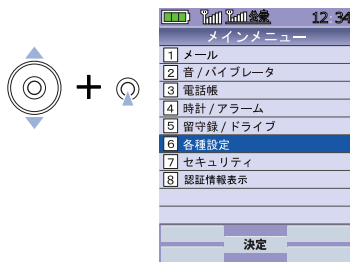
◆ ツータッチダイヤル

ツータッチダイヤルの番号を登録することで、電話番号を登録した数字と  を押すだけ(ツータッチ)でダイヤルできます。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2** <各種設定>を選択します。



- 3** <ツータッチダイヤル>を選択します。



- 4** 登録する数字を選択します。



- 5** 電話番号を入力します。



◆ エニーキーアンサ

「エニーキーアンサ」をONにしておくと、着信時にダイヤルボタンでも応答できます。

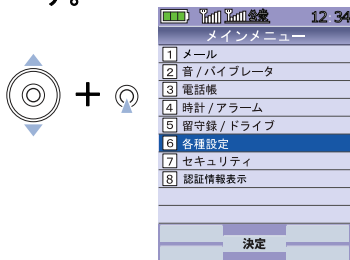
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



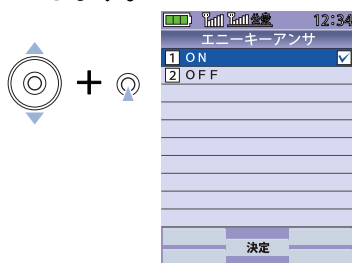
- 3** <エニーキーアンサ>を選択します。



- 2** <各種設定>を選択します。



- 4** 「ON」または「OFF」を選択します。



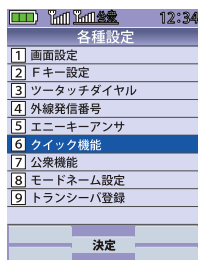
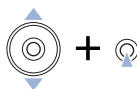
◆クイック機能

電話機を充電台に置いた状態で着信した場合、電話機を取るだけで応答できるようになります(クイック応答)。通話を終了するときも、充電台に置くだけで通話が終了し待受画面に戻ります(クイック終話)。

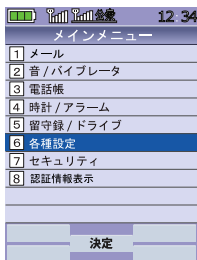
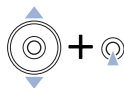
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



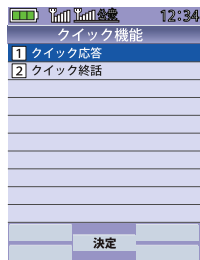
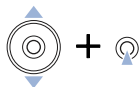
- 3** <クイック機能>を選択します。



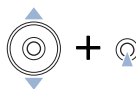
- 2** <各種設定>を選択します。



- 4** <クイック応答>または<クイック終話>を選択します。



5 「ON」または「OFF」を選択します。



フポイント

- クイック終話がONのときにACアダプタを差し込むと、電話機を充電台に置いたときと同様の動作をします。また、クイック応答がONのときにACアダプタを抜くと、充電台から電話機を取ったときと同様の動作をします。



重要

- キーロック中はクイック応答が無効になります。
- クイック応答がONのとき、着信中に電話機にACアダプタを差し込む、または、充電台に置くとクイックサイレント動作となります。



セキュリティ

より便利に使う

メインメニューの<セキュリティ>の機能では、以下の項目が設定できません。

パスワードロック(→P160)	暗証番号変更(→P126)
キーロック(→P163)	設定リセット(→P162)

◆パスワードロック

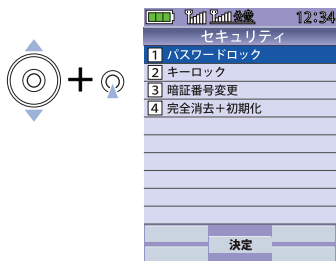
他の人に操作されないように、ボタン操作を制限する機能です。パスワードロックを「有効」に設定しているときは、電話を受ける  と切る 、保留と転送、パスワードロックの一時解除、および電源を切る以外の操作ができなくなります。

パスワードロックの設定

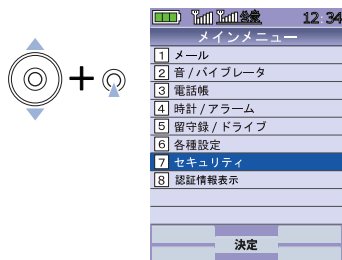
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 3** <パスワードロック>を選択します。



- 2** <セキュリティ>を選択します。



- 4** 暗証番号を入力します。

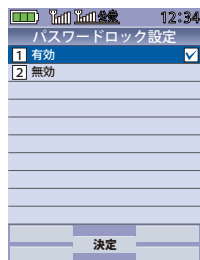
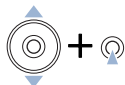


セキュリティ

5
活用
編

5 「有効」または「無効」を選択します。

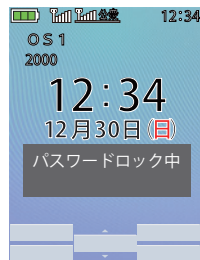
「有効」は定期的にパスワードロックが機能します。
パスワードロックを使用しないときは、「無効」を選択します。



選択した内容により、画面に「パスワードロックを有効にしました」または、「パスワードロックを無効にしました」の文字が表示されます。

パスワードロックを一時的に解除する

1 暗証番号を入力します。



一定時間が経過すると自動的にパスワードロック中に戻ります。



重要

- パスワードロックの設定は、電源を切っても解除されません。
- パスワードロック中は、緊急通報(110番、118番、119番)もご利用できません。



ワンポイント

- ディスプレイの点灯時間を設定する(→ P149)で設定した時間が経過したあとに、再びパスワードロック中となります。

◆設定をリセットする

機能や状態をメニュー機能一覧のご購入時の設定に戻します。(→P188)

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2** <セキュリティ>を選択します。



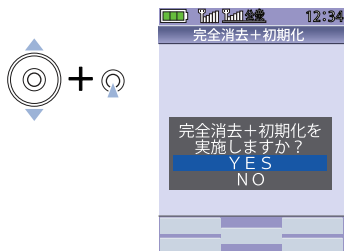
- 3** <完全消去+初期化>を選択します。



- 4** 暗証番号を入力します。



- 5** 「YES」を選択します。
リセットしないときは「NO」を選択します。



ボタン操作の機能

直接のボタン操作で、以下の機能が設定できます。

電話帳参照: (→P105)	留守録/ドライブ: 長押し(→P142)
マナーモード: 長押し(→P81)	モード選択: (モード)長押し(→P52)
キーロック: 長押し(→P163)	ポーズ入力: 長押し(→P64)
発信番号付加機能: 番号+ (→P165)	

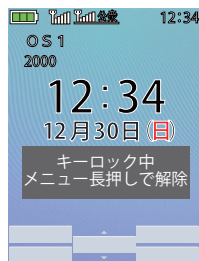
◆キーロック

移動時の誤ったボタン操作を防止する機能です。

キーロックを設定すると、電話を受ける と切る 、機能キーの中央を長押し(無効設定の解除)および電源を切る以外操作ができなくなります。

キーロックに設定する

- 1 待受画面で機能キーの中央を長く(1秒以上)押します。



画面に「キーロック中」が表示されます。キーロック中に電話を受ける場合は、 を押します。

キーロックを解除する

- 1 機能キーの中央を長く(1秒以上)押します。



待受画面に戻ります。



- キーロックは、メインメニュー→<7.セキュリティ>→<2.キーロック>を選択しても設定できます。

◆ 発信番号付加機能

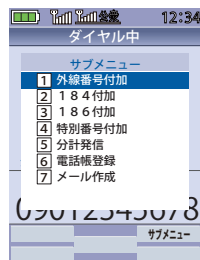
発信先の電話番号を表示した状態で機能キーの中央を押すことで指定できる機能です。

1 相手先の電話番号を入力します。

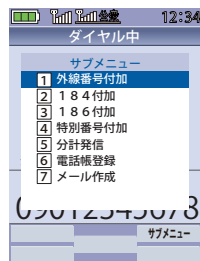
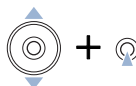
電話帳や着信/発信履歴から検索することもできます。



2 [サブメニュー]を押します。



3 機能を選択します。



外線番号付加	<外線発信番号登録>で登録してある外線発信番号を付加します。
184付加設定 ※	「184」(発信者番号非通知)を付加します。
186付加設定 ※	「186」(発信者番号通知)を付加します。
特別番号付加	入力した番号を付加します。

※ 公衆サービスを利用して電話をかける時のみ有効です。



- 表示される機能は、有効となっているモードや他の機能の設定などで表示されない場合があります。
- 付加される番号は、表示されている電話番号の前に自動的に付きます。

トランシーバとして使う





より便利に使う

トランシーバ通話は、両方とも同じ、事業所コードレスシステムサービス対応機器に登録されている電話機どうしでのみ利用できます。それぞれの電話機を「トランシーバモード」に設定すれば、登録先の接続装置等のない場所でも電話機どうし(2台)でお話しいできます。(3台以上で同時に通話することはできません。)



通話できる距離は見通し距離で約100m以内です。

◆トランシーバモードでできること

相手を呼び出す

- (1)  を押し、続けて相手の内線番号を入力します。
- (2) 接続されたらお話しします。
- (3) お話しが終わったら  を押します。

呼び出しを受ける

- (1) 着信音が鳴り、着信ランプが点滅します。
- (2)  を押します。
- (3) お話しが終わったら  を押します。

トランシーバとして使う

5
活用
編



重要

- 電波環境の悪い場所では、100m 以内でも通話が切れることがあります。また、電波が届く範囲から外れても通話が切れず。



ワンポイント

- トランシーバモードで呼び出す際は、事業所コードレスシステムモードで設定されている内線番号で呼び出せませんが、<トランシーバ登録>で呼び出し番号を設定することもできます。(→P167)
- トランシーバモードの待受中はアンテナマーク(📶)は表示されません。



◆トランシーバ登録する

トランシーバ専用の呼び出し番号を登録できます。

登録は、通話する双方の電話機で同時に行います。双方の電話機を1m以上の距離におき、受信側から先に操作します。受信側の準備ができれば、1分以内に送信側の操作をしてください。

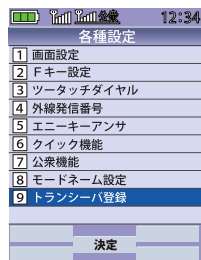
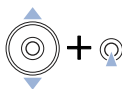
途中、暗証番号を入力しますが、この番号は双方の確認のための番号なので、電話機本体の暗証番号ではなく、任意の番号を選び、2台に同じ番号を入力してください。

受信側の操作

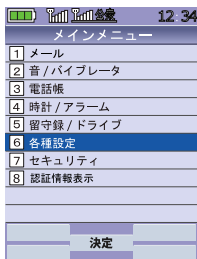
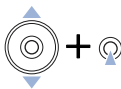
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



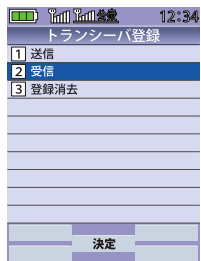
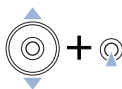
- 3** <トランシーバ登録>を選択します。



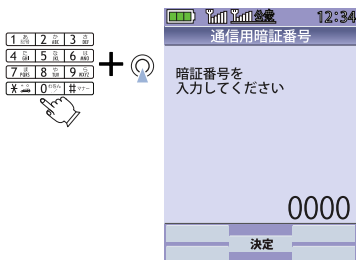
- 2** <各種設定>を選択します。



- 4** 「受信」を選択します。



5 任意の暗証番号を4桁で入力します。



この暗証番号はトランシーバ登録のための一時的な番号ですので、他では使用しません。(送信側との確認のみに使います。)

送信側の操作

受信側の準備の後、1分以内に操作を終えてください。

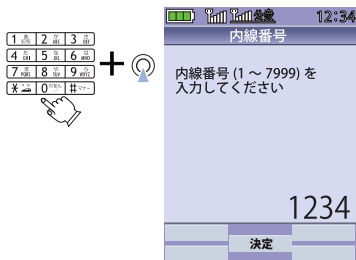
1 [メニュー]を選択します。

機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



6 内線番号を変更します。

元の番号を消去し、新しい呼び出し番号を1～7999の数字で入れます。

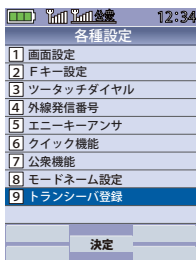
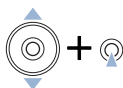


受信準備が整い、「受信中」と表示されます。

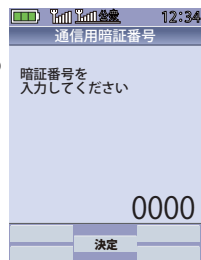
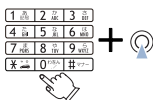
2 <各種設定>を選択します。



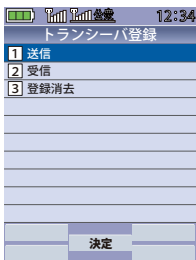
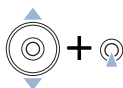
3 <トランシーバ登録>を選択します。



5 受信側と同じ暗証番号を入力します。

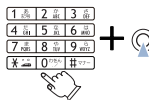


4 「送信」を選択します。



6 内線番号を変更します。

元の番号を消去し、新しい呼び出し番号を1～7999の数字で入れます。受信側とは異なる番号にしてください。



「送信中」と表示され送信が始まります。



重要

- 設定以降は、トランシーバモードの呼び出し番号が変更した番号になり、元の番号では呼び出せなくなります。
- 呼び出し番号を元に戻したい場合は、手順4で「登録消去」を選択してください。

公衆機能を使う

より便利に使う

公衆機能として、以下の機能が設定できます。

発信者番号通知(→P170)	指定着信拒否(→P178)
料金分計サービス(→P172)	ドライブモード(→P181)
留守番電話サービス(→P173)	リモートロック(→P183)
着信拒否設定(→P174)	

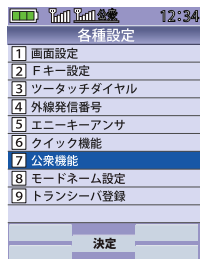
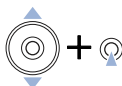
◆ 発信者番号を通知する(通知しない)

公衆モードで発信者番号通知の可否を設定できます。

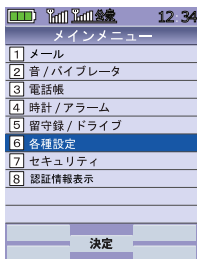
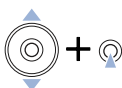
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



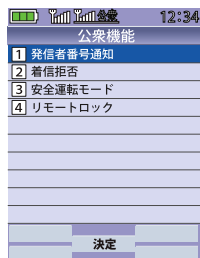
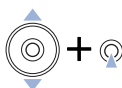
- 3** <公衆機能>を選択します。



- 2** <各種設定>を選択します。



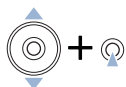
- 4** <発信者番号通知>を選択します。



公衆機能を使う

5
活用編

5 「ON」または「OFF」を選択します。



◆料金分計サービス

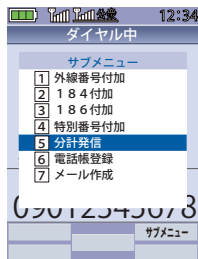
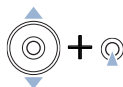
料金分計サービスは、分計発信の指定をした通話料金の請求先を通常とは別にすることができるワイモバイルが提供するサービスです。

ご利用に際しては、別途お申し込みが必要です(有料)。

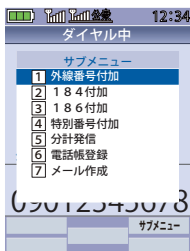
1 分計発信したい電話番号を入力します。



3 分計発信を選択します。 分計発信を選択した時点で、分計発信されます。



2 [サブメニュー]を押します。



- 分計発信で発信した、次の発信では分計発信は解除されます。

◆留守番電話サービス

電源を切っているときや、圏外にいるときに電話がかかってきた場合、留守番電話センターで相手のメッセージを録音し、あとで聞くことができます。

留守番電話サービスはワイモバイルの付加サービスです。

ご利用に際しては、別途お申し込みが必要です(有料)。

公衆モードで通話を終了したときにメッセージが録音されていると、

- ・「メッセージあり」と表示します。
- ・着信ランプがゆっくり点滅します。
(メッセージウェイティングランプ)



ワンポイント

- メッセージの再生などの操作については、留守番電話サービスに契約されたときのマニュアルをご覧ください。
- 「メッセージあり」の表示はメッセージを再生したあとで消えます。ただし、電池を取り外すとメッセージを再生していなくても表示されなくなります。

◆ 着信拒否設定

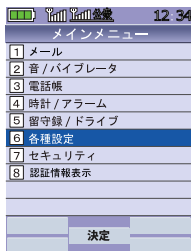
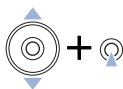
発信者番号を通知しない電話からの着信を受けないように設定できます。発信者側が非通知設定をしているため通知できない「ユーザ非通知」、公衆電話からの発信のため通知できない「公衆電話発信」、発信者番号通知に対応していないネットワークからの電話のため通知できない「通知不可能」の3種類について着信拒否を設定できます。

通知不可能の設定

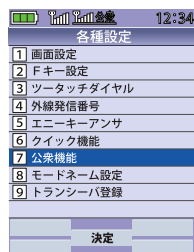
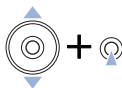
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



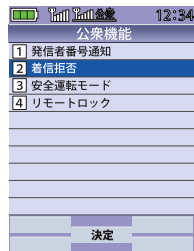
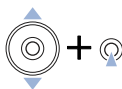
- 2** <各種設定>を選択します。



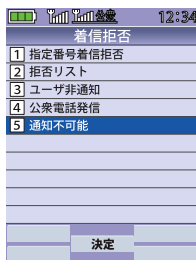
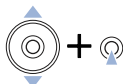
- 3** <公衆機能>を選択します。



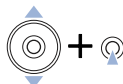
- 4** <着信拒否>を選択します。



5 <通知不可能>を選択します。



6 「ON」または「OFF」を選択します。

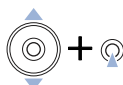


ユーザ非通知の設定

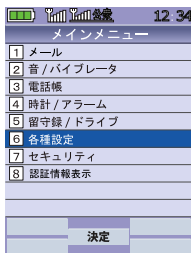
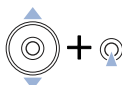
1 [メニュー]を選択します。 機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



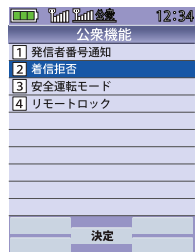
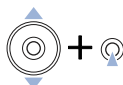
3 <公衆機能>を選択します。



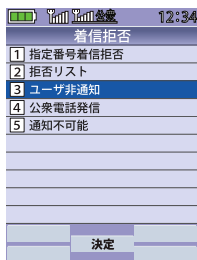
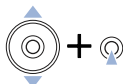
2 <各種設定>を選択します。



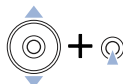
4 <着信拒否>を選択します。



5 <ユーザ非通知>を選択します。

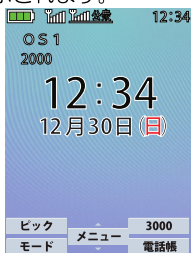


6 「ON」または「OFF」を選択します。

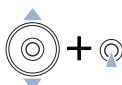


公衆電話発信の設定

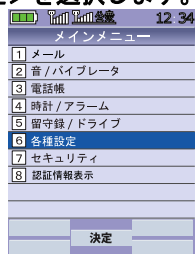
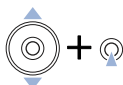
1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



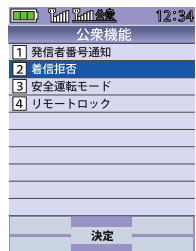
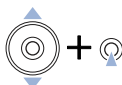
3 <公衆機能>を選択します。



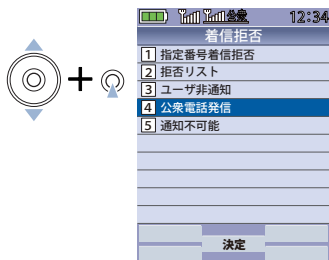
2 <各種設定>を選択します。



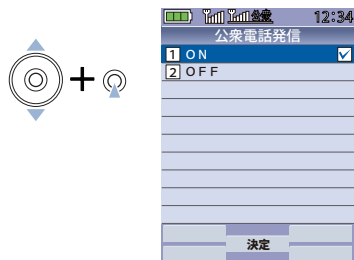
4 <着信拒否>を選択します。



5 <公衆電話発信>を選択します。



6 「ON」または「OFF」を選択します。



◆ 指定着信拒否

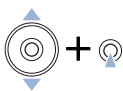
迷惑電話を防止するために指定した電話番号からの電話を受けないように設定できます(10件の電話番号を登録できます)。

指定着信拒否の設定

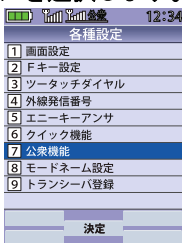
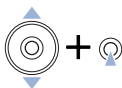
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



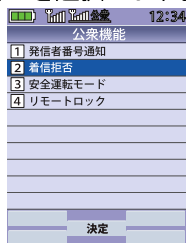
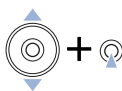
- 2** <各種設定>を選択します。



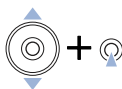
- 3** <公衆機能>を選択します。



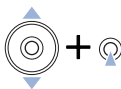
- 4** <着信拒否>を選択します。



- 5** <指定番号着信拒否>を選択します。



- 6** 「ON」または「OFF」を選択します。

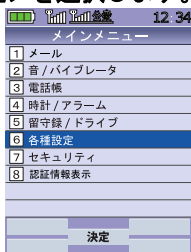
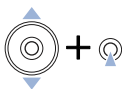


拒否リストの登録

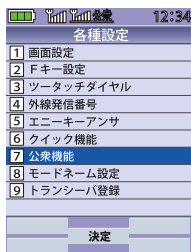
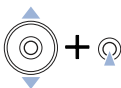
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



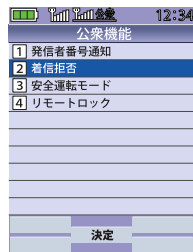
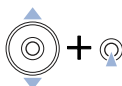
- 2** <各種設定>を選択します。



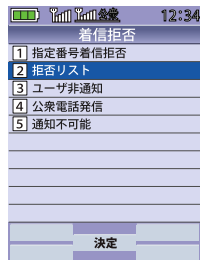
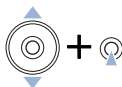
- 3** <公衆機能>を選択します。



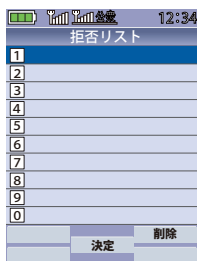
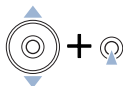
- 4** <着信拒否>を選択します。



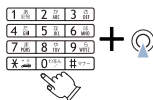
- 5** <拒否リスト>を選択します。



6 拒否番号を入力する欄を選択します。



7 拒否番号を入力します。



- 電話番号入力時に“*”が使用できます。
例:「070*」と登録すると「070」で始まる番号はすべて着信拒否されます。
注意: “*”は先頭には入力できません。
“*”以降にはダイヤルを入力できません。

◆ドライブモード(安全運転モード)

公衆モード(待受中)に、自動車運転中など手が離せない状態のときに設定しておく、着信があった場合に、発信者に対して電話に出ることができない旨を通知します。

ドライブモード中は、着信があったことを通知するための着信音やバイブレータ駆動はしませんが、着信があったことをディスプレイに表示します。また、ドライブモード中は、アラーム時刻になっても、アラーム音は鳴りません。

なお、110、118、119からの着信に関してはその限りではありません。

ドライブモードの設定

ドライブモードの設定は、「留守録/ドライブをONにする(→P142)」を参照してください。

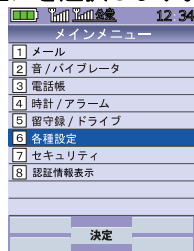
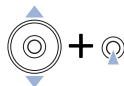
安全運転モードの設定

ネットワーク応答および電話機応答の可否設定ができます。
ネットワーク応答のご利用に際しては、別途お申し込みが必要です。

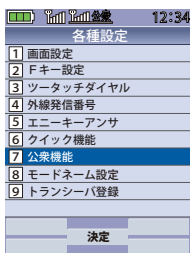
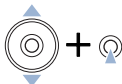
- 1 [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



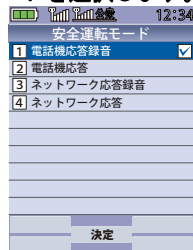
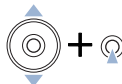
- 2 <各種設定>を選択します。



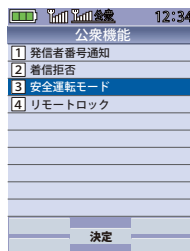
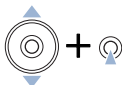
3 <公衆機能>を選択します。



5 設定するモードを選択します。



4 <安全運転モード>を選択します。



◆ リモートロック

電話機を紛失したときに、不本意な操作や電話機に記録された個人情報などの流出を防ぐために、電話機の操作の禁止や保存データの消去をリモートで行うことができます。

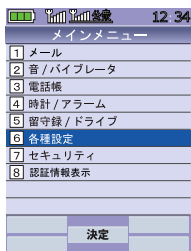
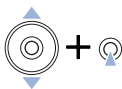
許可パスワードの設定

リモートから電話機を制御する際に必要なパスワードを設定します。

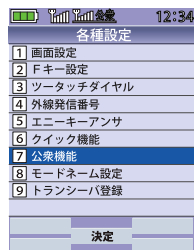
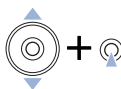
- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



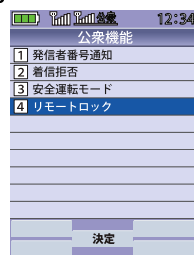
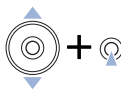
- 2** <各種設定>を選択します。



- 3** <公衆機能>を選択します。



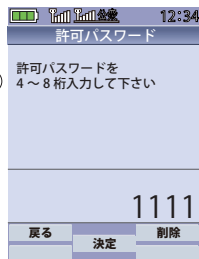
- 4** <リモートロック>を選択します。



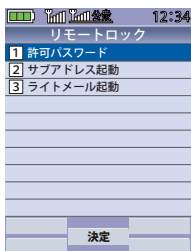
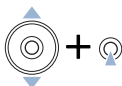
5 パスワードを入力します。



7 許可パスワードを入力します。



6 <許可パスワード>を選択します。



サブアドレス起動/ライトメール起動の設定

リモートロックの起動を許可する発信元(サブアドレス/ライトメール)の電話番号と起動許可を設定します。

- 1** [メニュー]を選択します。
機能キーを押すことで、メインメニューが表示されます。



- 2** <各種設定>を選択します。



- 3** <公衆機能>を選択します。



- 4** <リモートロック>を選択します。



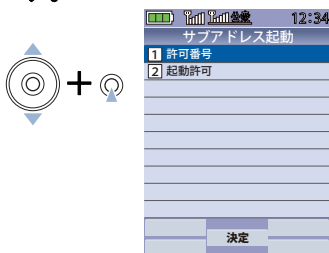
- 5** パスワードを入力します。



6 <サブアドレス起動>もしくは<ライトメール起動>を選択します。



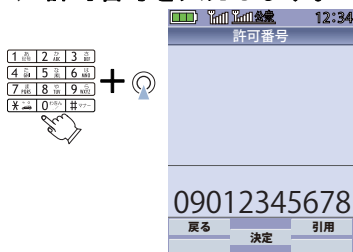
7 <許可番号>を選択します。



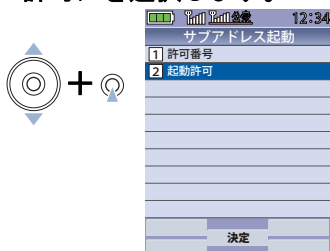
8 許可番号を入力する欄を選択します。



9 許可番号を入力します。



10 [クリア]を押してから<起動許可>を選択します。



11 「ON」または「OFF」を選択します。



6

メンテナンス

メニュー機能一覧.....	188
オプション.....	193
オプション紹介.....	193
故障かな?と思ったら.....	194
索引.....	198
仕様.....	201
本体.....	201
アフターサービスについて.....	202
保証について.....	202
アフターサービスについて.....	202

メニュー機能一覧

機能はソフトキーの[メニュー]を選択したときに表示されるメニューから選択できます。

機能の中に「機能番号」がついているものは、[メニュー]を選択した後にその数字を入力することによっても、機能を呼び出せます。

メインメニュー	機能メニュー	機能番号	機能の概要	ご購入時の設定	参照ページ
メール	受信フォルダ	[メニュー]+[1画]+[1画]	受信したメールを表示します。	なし	P131
	送信フォルダ	[メニュー]+[1画]+[2画]	送信したメールを表示します。	なし	P133
	メール作成	[メニュー]+[1画]+[3画]	メール作成をします。	—	P128
	送達確認音	[メニュー]+[1画]+[4画]	送信したメールが相手に到達した際に確認音を出すかを設定します。	ON	P135
	着信メール表示	[メニュー]+[1画]+[5画]	メールを着信した際に表示します。	OFF	P136
	返信時引用	[メニュー]+[1画]+[6画]	返信時に元のメールを引用します。	OFF	P137
音/バイブレータ	着信音量	[メニュー]+[2画]+[1画]	着信音の音量を設定します。	レベル3	P80
	着信音選択	[メニュー]+[2画]+[2画]	着信音のメロディ、着信LEDを設定します。	OS 公衆着信 (着信音1、緑) メール着信 (着信音10、緑) OS内線着信 (着信音2、緑) OS外線着信 (着信音1、緑) OS専用線着信 (着信音5、緑) TRS着信 (着信音2、緑)	P78
	バイブレータ	[メニュー]+[2画]+[3画]	バイブレータの設定をします。	OFF //パターン2	P85
	マナーモード	[メニュー]+[2画]+[4画]	—	—	P81
	マナーモード選択	[メニュー]+[2画]+[4画] +[1画]	マナーモードの状態を設定します。	バイブレータ	P82
	マナートーク	[メニュー]+[2画]+[4画] +[2画]	マナートークを設定します。	ON	P84
	キータッチトーン	[メニュー]+[2画]+[5画]	キータッチトーンをON/OFFします。	ON	P138
	ハンドオーバー通知音	[メニュー]+[2画]+[6画]	ハンドオーバー時に音を鳴らします。	ON	P88
	受話音量	[メニュー]+[2画]+[7画]	受話音量を変更します。	レベル3	P75
	マイク音量	[メニュー]+[2画]+[8画]	マイクの音量を設定します。	NORMAL	P77

メインメニュー	機能メニュー	機能番号	機能の概要	ご購入時の設定	参照ページ
電話帳	電話帳	メニュー+3画+1画	電話帳を参照したり登録します。	なし	P99
	電話帳参照	画	電話帳を参照します。	—	P105
	グループ名設定	メニュー+3画+2画	電話帳のグループ名を設定します。	なし	P103
	新規登録	メニュー+3画+3画	電話帳を登録します。	—	P100
	電話帳ロック	メニュー+3画+4画	電話帳をロックします。	なし	P113
	登録件数表示	メニュー+3画+5画	電話帳の登録件数を表示します。	—	P104
	電話帳転送	メニュー+3画+6画	電話帳を他の電話機に転送します。	—	P115
	全件削除	メニュー+3画+7画	電話帳を全削除します。	—	P112
時計/アラーム	日付時刻設定	メニュー+4画+1画	日付や時刻を設定します。	00:00 2013/01/01	P46
	アラーム	メニュー+4画+2画	アラームを設定します。	なし	P139
	バックアップ時刻設定	メニュー+4画+3画	バックアップ時刻を設定します。	03:00	—
留守録/ドライブ	留守録再生	メニュー+5画+1画	留守録を再生します。	なし	P145
	留守録消去	メニュー+5画+2画	留守録を消去します。	なし	P146
	留守録/ドライブ	メニュー+5画+3画	—	—	P142
	ドライブモード	メニュー+5画+3画 +1画	ドライブモードをON/OFFします。	OFF	P142


メインメニュー	機能メニュー	機能番号	機能の概要	ご購入時の設定	参照ページ
各種設定	プロフィール	メニュー+0	プロフィールを表示します。	—	P44
	画面設定	メニュー+6	—	—	—
	明るさ	メニュー+6+1 +1	画面の明るさを設定します。	5	P147
	点灯時間	メニュー+6+1 +2	画面の点灯時間を設定します。	20秒	P149
	キーバックライト	メニュー+6+1 +3	キーのバックライトをON/OFFします。	ON	P150
	内線番号表示	メニュー+6+1 +4	待受画面に内線番号を表示します。	ON	P151
	電源OFF確認表示	メニュー+6+1 +5	電源を切るときに確認画面を表示します。	ON	P42
	不在着信画面表示	メニュー+6+1 +6	不在着信時に不在着信画面を表示します。	ON	P67
	Fキー設定	メニュー+6+2	F1、F2の2つのキーに任意の番号を登録します。	なし	P152
	ツータッチダイヤル	メニュー+6+3	ツータッチダイヤルする番号を登録します。	なし	P156
	外線発信番号	メニュー+6+4	—	—	P58
	外線発信番号	メニュー+6+4 +1	外線発信番号を登録します。	0	P58
	自動付加	メニュー+6+4 +2	外線発信番号を自動で付加する機能です。	OFF	P60
	Eキーアンサ	メニュー+6+5	EキーアンサをON/OFFします。	ON	P157
	クイック機能	メニュー+6+6	—	—	P158
	クイック応答	メニュー+6+6 +1	充電台から持ち上げただけで通話できる機能をON/OFFします。	OFF	P158
	クイック終話	メニュー+6+6 +2	充電台に置いただけで終話できる機能をON/OFFします。	OFF	P158
	公衆機能	メニュー+6+7	—	—	P170
	発信者番号通知	メニュー+6+7 +1	発信者番号を通知するかを設定します。	ON	P170
	着信拒否	メニュー+6+7 +2	着信拒否を設定します。	指定番号着信拒否：OFF 拒否リスト：なし ユーザ非通知：OFF 公衆電話発信：OFF 通知不可能：OFF	P174
	安全運転モード	メニュー+6+7 +3	安全運転モードを設定します。	電話機応答録音	P181
	リモートロック	メニュー+6+7 +4	電話機紛失時に、電話機操作の禁止や保存データの消去をリモートで行う設定をします。	なし	P183
	モードネーム設定	メニュー+6+8	モード名を変更します。	OS1、OS2、OS3、TRS	P54

メインメニュー	機能メニュー	機能番号	機能の概要	ご購入時の設定	参照ページ
各種設定 (つづき)	トランシーバ登録	メニュー+ [6 画] + [9 画]	—	—	P167
	送信	メニュー+ [6 画] + [9 画] + [1 画]	トランシーバ送信用の 呼出し番号を登録しま す。	なし	P168
	受信	メニュー+ [6 画] + [9 画] + [2 画]	トランシーバ受信用の 呼出し番号を登録しま す。	なし	P167
	登録消去	メニュー+ [6 画] + [9 画] + [3 画]	登録した呼出し番号を 消去します。	—	P169
セキュリティ	パスワードロック	メニュー+ [7 画] + [1 画]	ボタン操作を制限しま す。	OFF	P160
	キーロック	◎(長押し) もしくは メニュー+ [7 画] + [2 画]	ボタン操作を無効に する機能をON/OFF します。	OFF	P163
	暗証番号変更	メニュー+ [7 画] + [3 画]	暗証番号を変更します。	0000	P126
	完全消去+初期化	メニュー+ [7 画] + [4 画]	登録した内容を完全消 去し、初期化します。	—	P162
認証情報表示	認証情報表示	メニュー+ [8 画]	認証情報を表示します。	—	P45

- **XXX** のついている機能は、「設定リセット」(→ P162)でご購入時の設定に戻ります。

メニュー以外の機能

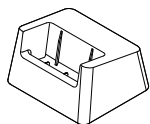
機能メニュー	機能番号	機能の概要	ご購入時の設定	参照ページ
着信履歴		着信履歴を参照します。	なし	P72
発信履歴		発信履歴を参照します。	なし	P72
電話帳参照		電話帳を参照します。	—	P105
マナーモード		マナーモードをON/OFFします。	OFF	P81
パスワードロック解除		パスワードロックを解除します。	—	P160
モード切替		モードを切り替えます。	OS1	P52
留守録/ドライブ		留守録/ドライブをON/OFFします。	OFF	P142
グッドウェーブ機能		基地局に再接続します。	—	P61

-  のついている機能は、「設定!リセット」(→ P162)でご購入時の設定に戻ります。

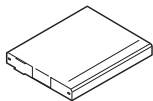
オプション

◆ オプション紹介

本電話機のオプションとしては、次の製品が用意されています。
オプションについては、販売店へお問い合わせください。



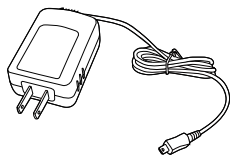
◆ 充電台



◆ 電池パック



◆ 電池カバー



◆ ACアダプタ

故障かな?と思ったら

故障かな?と思ったら、修理に出す前に次の点を確認してください。

こんなとき	原因	発生可能状態			確認してください	参照ページ
		事業所 コードレス システム モード	公衆 モード	トラン シーバ モード		
動作しない	電話機の電源が「切」になっている	○	○	○	電源を入れてください	P42
	電池パックが正しく入れられていない	○	○	○	電池パックを正しく入れてください	P35
	電話機の電池が消耗している	○	○	○	電池パックを充電してしばらくしてからお使いください 電池パックを交換してください	P35
	電話機がオフィスの接続装置等や公衆サービスの公衆基地局から離れすぎている	○	○	—	接続装置等に近づいてください PHSのサービスエリア内に移動してください	P61
	接続装置等のコンセントが外れている	○	—	—	コンセントを正しく差し込んでください	—
	停電のため	○	—	—	故障ではありません	—
	接続装置等の電源コードが傷んでいる	○	—	—	販売店へご相談ください	—
電話をかけられない	モードの設定が異なる	○	○	○	モードを確認してください	P51
	他の電話機を使っている	○	—	—	他の電話機のお話しが終わるまでお待ちください	—
	接続装置等の電話機コードが外れている	○	—	—	電話機コードを正しく接続してください	—
	キーロックが設定されている	○	○	○	キーロックを解除してください	P163
	パスワードロックが設定されている	○	○	○	パスワードロックを解除してください	P160
	接続装置等の電話回線の設定が正しくない	○	—	—	お使いの電話回線にあわせて正しく設定してください	—
	公衆サービスを利用しているとき、市外局番からダイヤルされていない	—	○	—	市外局番からダイヤルしてください	P62
電話帳から発信できない	電話帳ロックが設定されている	○	○	○	電話帳ロックを解除してください	P113
着信しない	不在転送、録音転送、着信拒否が設定されている	○	—	—	不在転送、録音転送、着信拒否の設定を解除してください	P122
	着信拒否が設定されている	—	○	—	着信拒否の設定を確認してください	P174

● 本電話機のソフトウェアの版数によっては動作が異なる場合がございます。



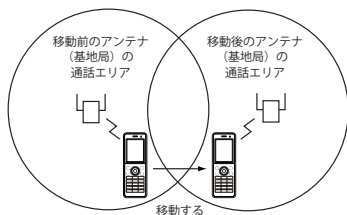
ワンポイント

こんなとき	原因	発生可能状態			確認してください	参照ページ
		事業所 コードレス システム モード	公衆 モード	トラン シーバ モード		
着信音が鳴らない バイプレータが振動しない	モードの設定が異なっている	○	○	○	モードを確認してください	P51
	着信音量が「サイレント」になっている	○	○	○	着信音量を「サイレント」以外にしてください	P80
	バイプレータ設定が「OFF」になっている	○	○	○	バイプレータ設定を「ON」にしてください	P85
	電池の残量がなくなりかけている	○	○	○	充電してください	P39
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	○	○	○	家電製品などから離してください	—
	電話機がオフィスの接続装置等や公衆サービス公衆基地局から離れすぎている	○	○	—	接続装置等に近づいてください PHSのサービスエリア内に移動してください	P61
	通話を切っていない	○	○	○	電話機を充電台に置くか、  を押してください	P63
通話中に雑音が入ったり、お話しが途切れる	電話機がオフィスの接続装置等や公衆サービス公衆基地局から離れすぎている	○	○	—	接続装置等に近づいてください PHSのサービスエリア内に移動してください	P61
	電波の弱いところにいる	○	○	—	電波の強いところに移動してください	P61
	近くに雑音を発生する家電製品などがある	○	○	○	家電製品などから離してください	—
	接続装置等のアンテナを立てていない	○	—	—	アンテナを立ててください	—
	電話機とオフィスの接続装置等や公衆サービス公衆基地局との間に障害物がある	○	○	—	場所を変えてお話ししてみてください	—
画面がつかない	液晶ディスプレイのバックライトが消えている	○	○	○	 を2回押してください。	—

こんなとき	原因	発生可能状態			確認してください	参照ページ
		事業所 コードレス システム モード	公衆 モード	トラ ンシーバ モード		
相手の方の声 が小さい、大き すぎる、または はずむ	電話音量の設定があっていない	○	○	○	受話音量を切り替えてください	P75-76
	マイク音量の設定があっていない	○	○	○	マイク音量を切り替えてください	P77
無線機の音が 混信して聞こえる	近くに無線機がある	○	○	○	場所を変えてお話ししてみてください	-
お話し中に警告音が 聞こえる	電池の残量がなくなりかけている	○	○	○	すみやかにお話を終わらせて、充電してください	P39
充電台に置いて も充電ランプが点 灯しない	充電台のコンセントが外れている	○	○	○	コンセントを正しく差し込んでください	P41
	充電端子が汚れている	○	○	○	乾いた布で清掃してください	-
	充電台に正しく差し込まれていない	○	○	○	充電台に正しく差し込んでください	P41
	電池パックが正しく入っていない	○	○	○	電池パックを正しく入れてください	P35
	電源コードが傷んでいる	○	○	○	電源をコンセントから抜いて販売店へご相談ください	-
3時間以上充電しても すぐに使えなくなる	充電台に正しく差し込まれていない	○	○	○	充電台に正しく差し込んでください	P41
	電池パックが正しく入っていない	○	○	○	電池パックを正しく入れてください	P35
	電池が消耗している	○	○	○	電池パックを交換してください	P35
触るとあたたかい	充電されたため	○	○	○	故障ではありません	-
通話中に相手の声 が小さくなる	受話口は非常に小さいので耳に強く押しつけると受話口をふさいでしまうことがあります	○	○	○	電話機を少しずらしてみるか耳から少しだけ浮かせてみてください	P197
通話中に相手の声 が突然聞こえなくなる	通話中にアンテナ(基地局)が切り替わる時には一時間聞こえなくなります	○	○	-	通話したままでお待ちいただくアンテナ(基地局)が切り替わり通話できるようになります	P197

■ 通話中、相手の方の声が突然聞こえなくなる。 (または「プッププッ」と鳴る)

電話機(子機)は、アンテナ(基地局)と、電波を送受信して通話します。一つのアンテナで通話できるエリアは限られているため、話しながら移動してエリアの外に出た場合や、障害物の影に入った場合、電波の状態が悪くなり、電話機の接続を別アンテナに切り替えます。また、移動していない場合でも、たまたま遠くにあるアンテナを使用していた場合などは、電波の伝わり方が悪くなると、同じように別アンテナに切り替えます。通常はスムーズに切り替わりますが、使用環境などの条件により、切り替えに時間がかかることがあります。この間、通話が無音状態になります。



通話中、相手の方の声が突然聞こえなくなっても、そのままお待ちいただきますと、アンテナが切り替わり相手の方と通話できるようになります。

■ 通話中、相手の方の声が小さくなる。

電話機の話口は非常に小さいので、耳に強く押しついたり、耳の穴(外耳道)からずれると、耳(耳殻)でふさいでしまう場合があります。特に、遠くの方と電話している時には、相手の方の声をよく聞きたいために、無意識のうちに強く話口を押しつけて話口をふさいでしまいます。



通話中に相手の方の声が小さくなったら、電話機を当てる位置をずらしたり、耳から少し浮かせてみてください。受話口が開いて、相手の方の声が良く聞こえるようになります。

索引

数字

1件削除 電話帳	111
-------------	-----

アルファベット

ACアダプタ	28,193
Fキー設定	152,190
OS	
(事業所コードレスシステムモード)	505,156
PBX機能	120,122
TRS (トランシーバ)	51
USB端子	30
VoiceMail連動	123

五十音

ア

アイコン	
画面	33
アフターサービス	202
アラーム	139,189
アラーム口	30
暗証番号変更	126,191
安全運転モード	181,190
安全上のご注意	3
一覧表示	
電話帳	105
ウェイト	32,122
液晶ディスプレイ	29
液晶ディスプレイの見方	31
エニーキーアンサ	157,190
音/バイプレータ機能	138,188
オフィスで使う	56
オプション	193
音量 (着信)	80

カ

会議	32,122
外線発信番号登録	58,190
外線発信番号付加	57,165
変える	
受話音量	75
着信音	78
着信音量	80
メロディ	78
各種設定	147,190
確認	
電波状態	61

モード	61
各部の名称	29
かけ直す	70
カタカナ・英字入力	95
画面設定	190
画面の明るさ設定	147,190
漢字・ひらがな入力	92
完全消去+初期化	162,191
キータッチトーン	138,188
キーバックライト	150,190
キーロック	163,191
聞き取り	32,122
機能キー	29
客室状態	32,122
キャンプ	32,122
許可パスワード	183
拒否リスト	179
切り替え	
モード	52
クイック応答	158,190
クイック機能	158,190
クイック終話	158,190
グッドウェーブ機能	61,192
クリアボタン	29
グループリング	123
グループ名設定	103,189
圏外転送	32,122
検索	
電話帳	106
交換	
電池バック	35
公衆機能	170,190
公衆サービス	51
公衆電話発信	174
故障かな?と思ったら	194

サ

再生	
留守録	145,189
サイレント (無音)	80,82
削除	
文字	97
サブアドレス起動	185
シェア	32,122
事業所コードレスシステムモード	
(OS)	505,156
自局番号表示	44
質量	201
指定着信拒否	178
自動付加	60,190
修正	
電話帳	108
充電	39
充電器	41,193

充電時間	39,41
充電ランプ	39,41
受信フォルダ	131,188
寿命	
電池パック	37
受信音量	75,188
受話口	29,197
消去	
留守録	146,189
使用時間	
電池	38
新規登録	
電話帳	100
シングルモード	51
寸法	201
セキュリティ	160,191
接続先一時変更	53
設定リセット	162
セット	
電池パック	35
セットの確認	28
全削除	
電話帳	112,189
選択	
モード	51,52
送信フォルダ	133,188
送達確認音	135,188
挿入	
文字	98
送話口	29
ソフトキー	120,122

●タ

ダイヤルボタン	29
着信（電話を受ける）	66
着信/充電ランプ	29,30
着信/発信履歴機能	72
着信音選択	78,188
着信音量	80,188
着信拒否	32,122,190
着信制限	32,122
着信メール表示	136,188
着信履歴	70,71,72,192
ツータッチダイヤル	156,190
通知不可能	174
通話	62
通話時間	64
通話ボタン	29
通話録音	32,122
デュアルモード	51
電源	42
電源/切ボタン	29
転先不在	32,122
転送/キャンブオン	123
電池カバー	35,193
電池残量	43
電池パック	28,193
点灯時間	149,190
電波状態の確認	61

電話機	28
電話帳	99,189
電話帳機能	189
電話帳参照	105,189,192
電話帳転送	115,189
電話帳登録	100,189
電話帳ボタン	29
電話帳ロック	113,189
電話番号確認	45
電話を受ける	66
電話をかける	61,62
電話帳	105
登録	
外線発信番号	58,190
電話帳	100,189
登録件数表示	104,189
特殊な文字	95
特長	26
時計機能	139,189
時計設定	46
ドライブモード	181,189
トランシーバ（TRS）	51,166
トランシーバ登録	167,191
受信	167,191
送信	168,191
登録消去	169,191
取り扱い	
ACアダプタ	9
充電器	4,9
電池パック	4,7
本電話機	4,5
取扱説明書の構成	18
取扱説明書の見方	18

●ナ

内線	56
内線番号表示	151,190
名前変更	
電話帳	108
入力モード	
文字	89
認証情報表示	45

●ハ

パーク	32,122
バイブレータ	82,85,188
パスワードロック	160,191
パスワードロック一時解除	161
パスワードロック解除	192
バックアップ時刻設定	189
発信（電話をかける）	61
発信者番号通知	170,190
発信制限	32,122
発信番号付加機能	165
発信履歴	70,71,72,192
早分かりガイド	28
番号追加	
電話帳	109

番号変更	
電話帳	110
ハンドオーバ通知音	88,188
ハンドストラップ取り付け穴	30
ピック	32,122
日付時刻設定	46,189
表示	
自局番号	44
表示濃度	
液晶	147
不応答転送	32,122
不在転送	32,122
フリガナ検索	
電話帳	106
フレキシブルキー	29
プロフィール	44,190
ページの構成	19
変更	
暗証番号	126
返信時引用	137,188
ボース	64
保証書	28
ボタン	19
ボタン操作の機能	163
ホテル機能	123
保留転送	
OS	57
保留ボタン	29

マ

マイク音量	77,188
マナートーク	84,188
マナーボタン	29
マナーモード	81,188,192
マナーモード選択	82,84,188
無音	80
メール機能	128,188
メール作成	128,188
メニュー	32
メニュー機能一覧	188
メロディ	78
モード	50
モード切替	52,192
モードネーム設定	54,190
モードの確認	61
モード名変更	54
文字入力	89
文字の削除	97
文字の挿入	98

ヤ

ユーザ非通知	174
優先モード	51

ラ

ライトメール起動	185
ランプ表示	30
リモートロック	183,190

料金分計サービス	172
履歴	
着信番号	72
発信番号	72
留守番電話サービス	173
留守録/ドライブ	142,189,192
留守録/ドライブ機能	142,189
留守録/ドライブボタン	29
連続通話時間	38
連続待受時間	38
ローミング	124
録音転送	32,122
ロック	
電話帳	113
ボタン操作	160

ワ

話中転送	32,122
割り込み	32,122,123
割込拒否	32,122

仕様変更などにより、図や内容が一部異なる場合があります。ご了承ください。

◆ 本体

寸法	約45.0mm(幅)×約12.0mm(奥行)×約125.0mm(高さ) (穴起部を除く)
質量	約95g (電池/バック含む)
使用電池	専用リチウムイオン電池 DC3.7V-880mAh 3.3Wh
充電完了時間	ACアダプタで直接充電:約180分 充電台で充電:約150分
連続通話時間 (25℃常温にて)	約6時間
連続待受時間(※) (25℃常温にて)	約500時間 (事業所コードレスシステムモード/公衆モード)

(※) 連続待受時間とは、充電完了後、電話機を充電台に置かずに、一度も通話や設定操作をしない状態のときの時間です。
通話したり、着信音が鳴ったりすると連続待受時間は短くなります。

アフターサービスについて

◆保証について

保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。

◆アフターサービスについて

調子が悪いときは

修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでも調子がよくなりませんときは、販売店にご相談ください。

保証期間中は

修理いたします。

* 保証期間中でも、水濡れ・結露等による腐食が発見された場合および内部の基板が破損・変形している場合は修理できません。

保証期間が過ぎた場合は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

部品の保有期間は

本電話機の補修用性能部品(機能を維持するために必要な部品)の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間です。

この部品保有期間を修理可能期間といたします。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、販売店等へお問い合わせください。

お願い

- 本電話機および付属品の改造はおやめください。
 - ・ 火災・けが・故障の原因となります。
 - ・ 改造(部品の交換・改造・塗装など)が施された場合は、改造部分を元の状態(純正品状態)に戻していただいた場合のみ、故障修理のお取り扱いをさせていただきます。ただし、改造内容によっては、故障修理をお断りする場合があります。
 - ・ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有償修理となります。
- 本電話機に貼付されている銘板シールは、剥がさないでください。銘板シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘板シールが故意に剥がされたり、貼り替えられた場合など、銘板シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

電子情報の消去および各種機能の「ON/OFF」情報のリセットについて

- お客様または第三者などが本商品のお取り扱いを誤ったとき、本商品のメモリなどが静電気ノイズの影響を受けたとき、また故障修理などのとき、まれに記憶内容が変化、消失することがあります。重要な内容は必ず控えておいてください。記憶内容が変化、消失したことによる損害などについては、当社に重大な過失、故意がない限り当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。
- 各種機能の「ON/OFF」の情報は、本電話機の故障・修理・電話機などの変更やその他の取り扱いによって、リセット(クリア)される場合がありますが、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。お手数をおかけしますが、この場合は再度、設定を行ってくださるようお願いいたします。



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing.



MEMO

A series of horizontal dotted lines for writing, consisting of 25 rows of evenly spaced dots across the page.

警 告

本製品は外国為替及び外国貿易管理法の規定により規制貨物等(又は役務)に該当する場合がありますので、日本国外に輸出する場合には同法に基づき日本政府の輸出許可の確認が必要です。

使い方等でご不明の点がございましたら、販売店等へお気軽にご相談ください。



三菱電機システムサービス株式会社

X90550-19C24001

2020.3(6版)
A50-035256-001